

ワイヤレス受信機

取扱説明書

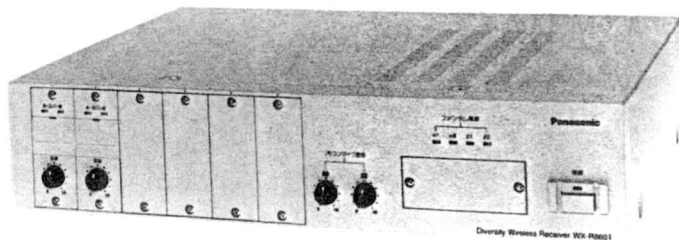
工事説明付き

品番 **WX-R8601**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使うって上手に節電

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
別売品について	2
安全上のご注意	3
取扱上のご留意	5
<hr/>	
各部の名前と働き	6
トークA,B出力の使いかた	10
トークA出力の使いかた	11
トークB出力の使いかた	12
操作のしかた	13
<hr/>	
接続のしかた	
■ 2チャンネルダイバシティ受信方式の場合	14
■ 4チャンネルダイバシティ受信方式の場合	15
■ 6チャンネルダイバシティ受信方式の場合	16
■ 12チャンネルダイバシティ受信方式の場合	17
増設入力について	20
アンテナについて	22
フィールド・アンテナ感度の設定	23
受信するグループ・チャンネルについて	24
リモコンマイクについて	26
チューナーユニットの取り付け	28
A出力について	29
予備出力について	30
B外部入力、優先機能について	31
故障と思われましたら	32
ラックマウントのしかた	33
ブロックダイヤグラム	34
仕様	35
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、ワイヤレスマイクWX-T8400（別売品）専用の800MHz帯ダイバシティワイヤレス受信機です。

- ワイヤレスマイクのトークスイッチA出力は2系統、B出力は4系統の音声を出力することができます。
- ダイバシティ方式を採用しており、 α - β 各2入力のアンテナによって電波の受信を確実にし、デッドポイントを低減します。
- 工場出荷時にはチューナーユニットが2台装着されています。
- 増設用チューナーユニット WX-D8200（別売品）を4台まで増設できます。
- 受信機本体から、 α ・ β 各2台のアンテナ感度をリモートコントロールすることができます。

付属品をご確認ください

複式プラグ.....	1	取扱説明書(本書).....	1
単式プラグ.....	1	保証書.....	1
小型ドライバー.....	1		

別売品について

(品番は、1998年3月現在のものです)

ワイヤレスマイクロホン.....	WX-T8400
チューナーユニット.....	WX-D8200
ワイヤレスアンテナ.....	WX-A8100/WX-A8105/WX-A8110
リモコンマイク.....	WX-M900/WX-M900A

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグ の抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

はしどい

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

取扱上のお願ひ

「安全上のご注意」と合わせて、以下のこともお守りください。

■使用上のお願ひ

●ご使用電源は

AC100Vです。ご使用後は必ずスイッチを押して電源を切ってください。

●設置場所は

直射日光の当たる所や温風吹出口近くは避けてください。

また、湿気・ほこりおよび振動の多い場所に設置すると故障の原因になることがあります。

●アンテナは

●専用アンテナWX-A8100/WX-A8105/WX-A8110(別売品)をご使用ください。

●十分なダイバシティ効果を得るために、2本のアンテナ間隔は5~20 m以内にしてください。

●近くの妨害電波を避けて

同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。

やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は使用範囲最大距離(28ページ参照)の1/2以下の距離でご使用ください。

なお、最小距離以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。また、テレビなど送信所の送信アンテナ直下では到達距離が短くなる場合があります。

●周波数は

●ワイヤレスマイクの周波数は、受信機の周波数と合わせてご使用ください。

●本機は、ワイヤレス受信機WX-4020,4040とトーン周波数は異なりますが、同一のグループ、チャンネル周波数帯を使用しています。

WX-4020,4040と同一空間で使用する場合、同一グループで使用し運用できるチャンネルは最大6波です。

●マイクロホンは

●専用マイクロホンWX-T8400(別売品)をご使用ください。

●B型ラムサマイクロホン、WX-4000シリーズとWX-T8400はトーン周波数が異なるため受信できません。

●マイクロホン同士は、50 cm以上離してください。

■お手入れについて

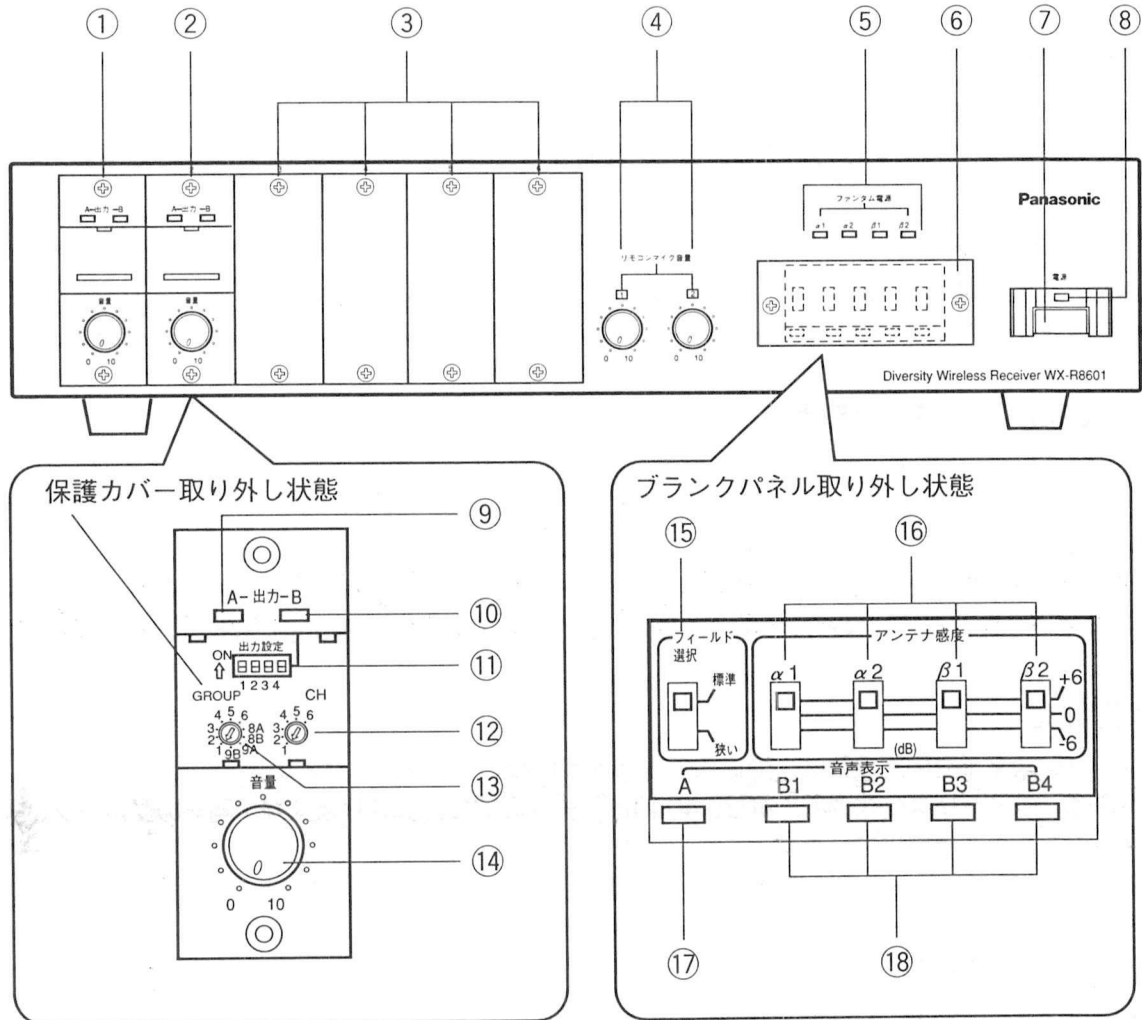
●電源を切り、乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤(中性)をやわらかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽く拭いてください。その後、乾いたやわらかい布で洗剤成分を完全に拭き取ってください。

●ベンジン、シンナーなど揮発性ものは使用しないでください。

●化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

各部の名前と働き

■前面

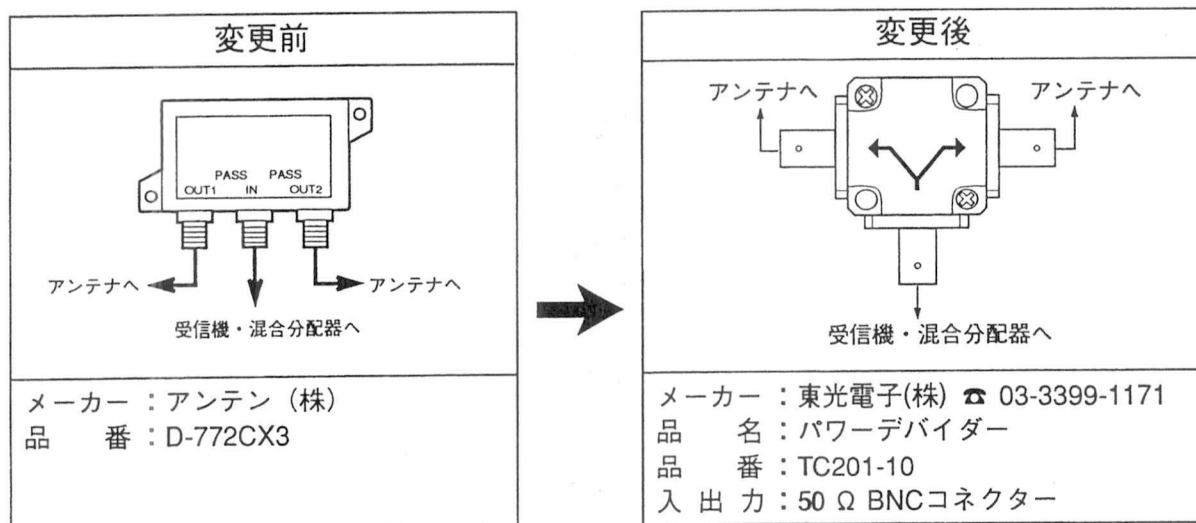


アンテナ混合器、分配器の変更について (2000年8月現在)

アンテナ混合器、分配器（別売推奨品）の生産中止に伴い、推奨品を下記の通り変更させていただきます。

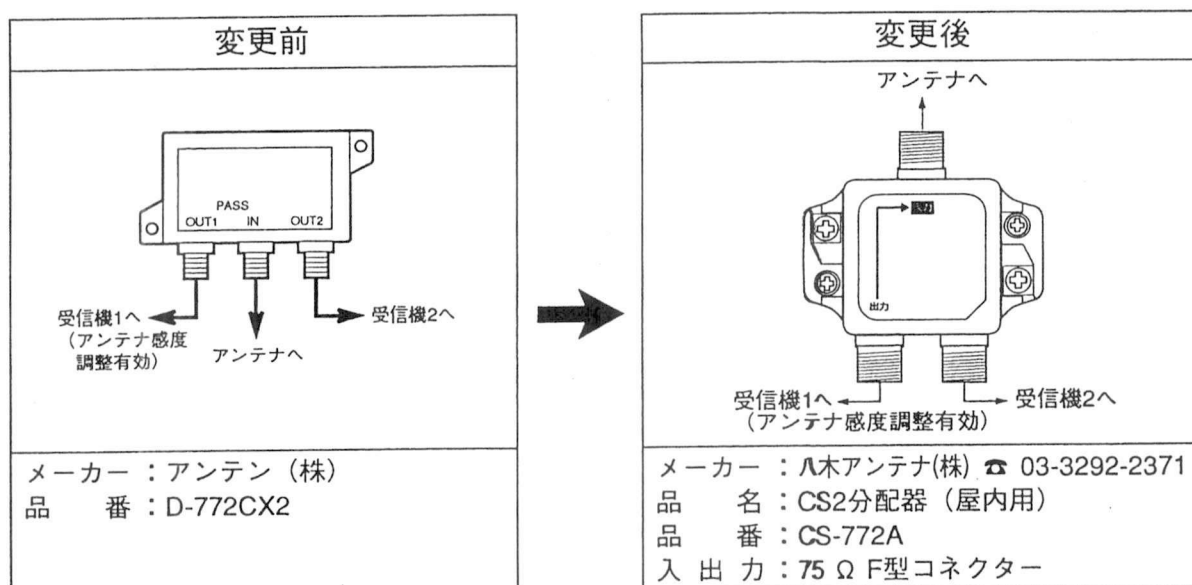
●アンテナ混合器（全端子電流通過形）

アンテナ2台を混合して、受信機・混合分配器へ接続する場合に使用します。



●アンテナ分配器（片側電流通過形）

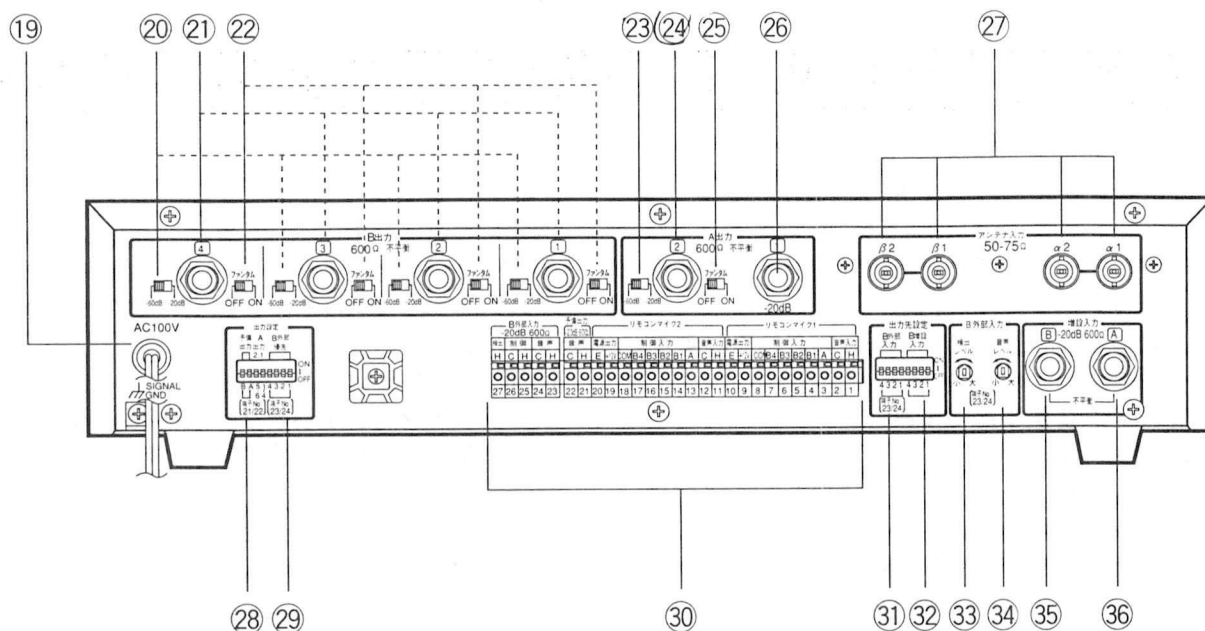
アンテナ1台を2台の受信機へ分配する場合に使用します。



- ①チューナーユニット1 [1]
工場出荷時は、1グループ 1チャンネルに設定されています。
- ②チューナーユニット2 [2]
工場出荷時は、1グループ 2チャンネルに設定されています。
- ③増設チューナーユニット(3,4,5,6)装着部 [3,4,5,6]
チューナーユニットWX-D8200(別売品)を4台まで増設できます。前面左側から3,4,5,6になります。チューナーユニット装着場所により、A1,2出力先を選択できます。(19ページ参照)
工場出荷時は、ブランクパネルが装着されています。(28ページ参照)
- ④リモコンマイク音量調節つまみ
[リモコンマイク音量 1,2]
後面に接続したリモコンマイク WX-M900, WX-M900A (別売品)からの音量を調節します。
- ⑤ファンタム電源表示灯[ファンタム電源 $\alpha 1, \alpha 2, \beta 1, \beta 2$]
各アンテナ入力ファンタム電源の状態を表示します。
緑 : 正常供給状態
赤 : 異常状態
必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
消灯: 無接続状態
同軸ケーブルを接続していても、消灯している場合は、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。ただし、アンテナ混合器D-772CX2を接続している場合の消灯は、異常ではありません。
(22ページ参照)
- ⑥アンテナ感度設定・出力表示部
ブランクパネルが装着されています。
- ⑦電源スイッチ[電源]
押すと電源が入ります。
- ⑧電源表示灯
電源スイッチ⑦を押すと点灯します。
- ⑨受信表示灯A(赤)
ワイヤレスマイクロホンWX-T8400(別売品)のトークAの電波を受信すると点灯します。
- ⑩受信表示灯B(赤)
ワイヤレスマイクロホンWX-T8400(別売品)のトークBの電波を受信すると点灯します。
- ⑪トークB音声出力モード設定スイッチ
[出力設定 1,2,3,4、ON]
後面のB1,B2,B3,B4出力に対応して、音声出力先を設定します。「ON」にすると出力されます。工場出荷時は、すべて「ON」に設定されています。(30ページ参照)
- ⑫チャンネル設定スイッチ
[CH 1/2/3/4/5/6]
受信チャンネルを設定します。
設定可能なチャンネルは「1」～「6」です。その他のポジションは無効です。(24,25ページ参照)
- ⑬グループ設定スイッチ
[GROUP 1/2/3/4/5/6/8A/8B/9A/9B]
受信グループを設定します。(24,25ページ参照)
- ⑭受信音量調節つまみ[音量]
受信音量を調節します。
- ⑮フィールド選択スイッチ[標準/狭い]
アンテナの受信するフィールドの大きさ(感度)をリモートコントロールします。フィールドが狭い場合は、「狭い」に設定します。(23ページ参照)
- ⑯アンテナ感度設定スイッチ
[$\alpha 1, \alpha 2, \beta 1, \beta 2, +6/0/-6$]
各アンテナの感度を選択します。
使用する同軸ケーブルの種類や長さによって、アンテナの感度をリモートコントロール設定します。
工場出荷時は、「0」に設定されています。
(23ページ参照)
- ⑰A音声/制御表示灯(赤) [音声表示 A]
A2音声出力時(制御送り時)に点灯します。
A1のみの音声出力時は点灯しません。
- ⑱B音声/制御表示灯(赤) [音声表示 B1,B2,B3,B4]
B音声出力時に点灯します。

各部の名前と働き

■後面



①⑨電源コード [AC 100 V]

AC100 V 50/60 Hz

②⑩B出力レベル切換スイッチ[-60 dB/-20 dB]

B出力ジャック②⑪のレベルを設定します。

工場出荷時は、-20 dBに設定されています。

②⑪B出力ジャック[B出力 600 Ω 不平衡、1,2,3,4]

- チューナーユニット1~6のトークB音声をミキシング出力します。
- トークB音声出力モード設定スイッチ⑪の1~4に対応して、B1~B4出力端子から音声を出力します。
- 20 dB/-60 dB切換式 600 Ω 不平衡
-20 dB→接続機器のライン入力端子へ
-60 dB→接続機器のマイク入力端子へ

②⑫Bファンタム電源スイッチ

[ファンタム電源 DC7.5 V 65 mA ON/OFF]
接続機器にファンタム電源供給が必要な場合は、「ON」にします。
工場出荷時は、「OFF」に設定されています。
(21ページ参照)

②⑬A2出力レベル切換スイッチ[-60 dB/-20 dB]

A2出力ジャック②⑭のレベルを設定します。
工場出荷時は、-20 dBに設定されています。

②⑭A2出力ジャック[A出力2、600 Ω 不平衡]

- チューナーユニット1~6のトークA音声をミキシング出力します。
- A出力設定スイッチ②⑮によって、チューナーユニット1~4までのトークA音声をミキシング出力できます。工場出荷時は、チューナーユニット1~6のミキシング出力に設定されています。
- 20 dB/-60 dB切換式 600 Ω 不平衡
-20 dB→接続機器のライン入力端子へ
-60 dB→接続機器のマイク入力端子へ

②⑮A2ファンタム電源スイッチ

[ファンタム電源 DC7.5 V 65 mA ON/OFF]
通常は「OFF」で使用します。
工場出荷時は、「OFF」に設定されています。
(21ページ参照)

②⑯A1出力ジャック[A出力1、-20 dB 600 Ω 不平衡]

- チューナーユニット1~6のトークA音声をミキシング出力します。
- A出力設定スイッチ②⑮によって、チューナーユニット5,6のみのトークA音声をミキシング出力できます。工場出荷時は、チューナーユニット1~6のミキシング出力に設定されています。

⑳アンテナ入力端子

[アンテナ入力 50-75Ω $\alpha 1, \alpha 2, \beta 1, \beta 2$, ファンタム
(DC12V 70mA×4)]

BNCコネクタ

専用ファンタム電源出力DC9V~12V 70mA 最大
DC出力電圧は、アンテナ感度設定スイッチ⑯により
変化します。

㉑A出力設定スイッチ/予備出力モード設定スイッチ

[出力設定 A出力 1,2, 予備出力 A,B ON/OFF]
出荷時は、すべて「ON」に設定されています。

●A出力1ジャック 1~4

「ON」に設定すると、チューナーユニット1~6
のトークA音声がA1から出力されます。

「OFF」に設定すると、チューナーユニット5,6
のみのトークA音声がA1から出力されます。

●A出力2ジャック 5, 6

「ON」に設定すると、チューナーユニット1~6
のトークA音声がA2から出力されます。

「OFF」に設定すると、チューナーユニット1~4
までのトークA音声がA2から出力されます。

●予備出力端子B B1~B4ミキシング

●予備出力端子A A音声

(30ページ参照)

㉒B出力優先設定スイッチ

[出力設定 B外部優先1,2,3,4, ON/OFF]

●「ON」に設定

端子台No.25制御が「L」(※1)の場合のみ、他の
音声(※2)を減衰し、端子台No.23,24のB優先外
部入力音声を優先して出力します。

端子台No.27検出と端子台No.25制御がショートさ
れている場合は、端子台No.23,24の音声信号によ
り優先動作します。

(※1) L: 制御端子HとCをショート

(※2) 他の音声: 優先入力以外のすべての音声

●「OFF」に設定

チューナーユニット1~6の音声と他の音声をミキ
シング出力します。

出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。

(31ページ参照)

㉓外部入力制御端子台

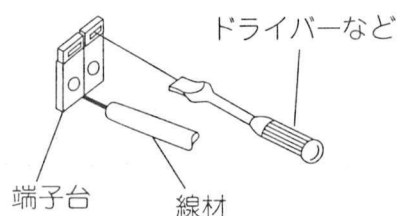
●B外部入力端子[B外部入力] (31ページ参照)

●予備出力端子[予備出力] (30ページ参照)

●リモコンマイク1入力端子[リモコンマイク1]
(26ページ参照)

●リモコンマイク2入力端子[リモコンマイク2]
(26ページ参照)

端子台のボタンを押しながら、線材を抜き差しします。



㉔B外部入力設定スイッチ

[出力先設定 B外部入力, ON/OFF, 1,2,3,4]

端子台No.23,24のB外部入力音声のミキシング出力
先を設定します。

端子台No.25制御が「L」(※3)の場合のみ出力し
ます。(31ページ参照)

端子台No.27検出と端子台No.25制御がショートされ
ている場合は、端子台No.23,24の音声信号により出
力します。

㉕B増設入力設定スイッチ

[出力先設定 B増設入力, ON/OFF, 1,2,3,4]

B増設入力ジャック㉖の入力音声のミキシング先を設
定します。

入力ジャックのリングが「L」(※3)の場合のみ出力
します。(20,21ページ参照)

㉖B外部検出レベル設定ボリューム

[B外部入力 検出レベル, 小/大]

端子台No.23,24のB外部入力レベルを設定します。

㉗B外部音声レベル設定ボリューム

[B外部入力 音声レベル, 小/大]

端子台No.23,24のB外部入力レベルを設定します。

㉘B増設入力ジャック

[増設入力, B -20 dB 600 Ω 不平衡]

●入力された音声をB1~B4出力からミキシング出力
します。

●B増設入力設定スイッチ㉕により、B1~B4まで出
力先が設定可能です。

●入力ジャックのリングが「L」(※3)の場合のみ出
力されます。

㉙A増設入力ジャック

[増設入力, A -20 dB 600 Ω 不平衡]

●入力された音声をA出力からミキシング出力します。

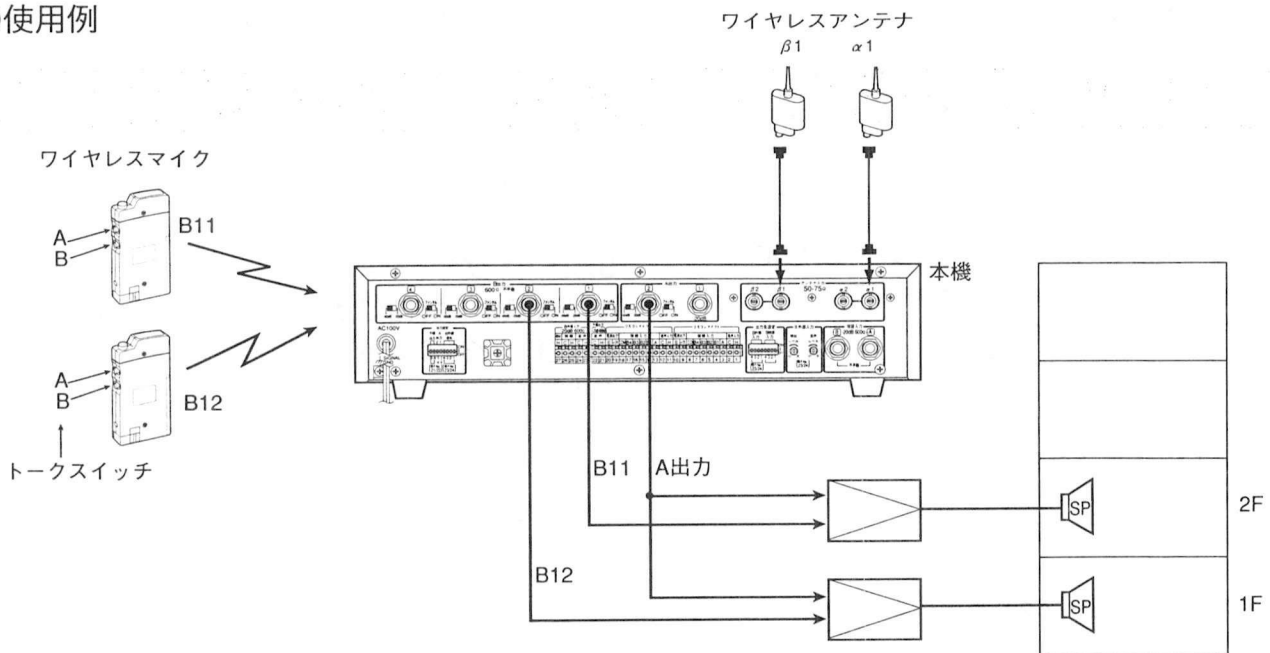
●入力ジャックのリングが「L」(※3)の場合のみ出
力されます。

(※3) L: ジャックのリングとスリーブをショート

トークA,B出力の使いかた

ワイレスマイク WX-T8400 (別売品) のトークスイッチA、B 2系統の音声を出力することができます。

●使用例

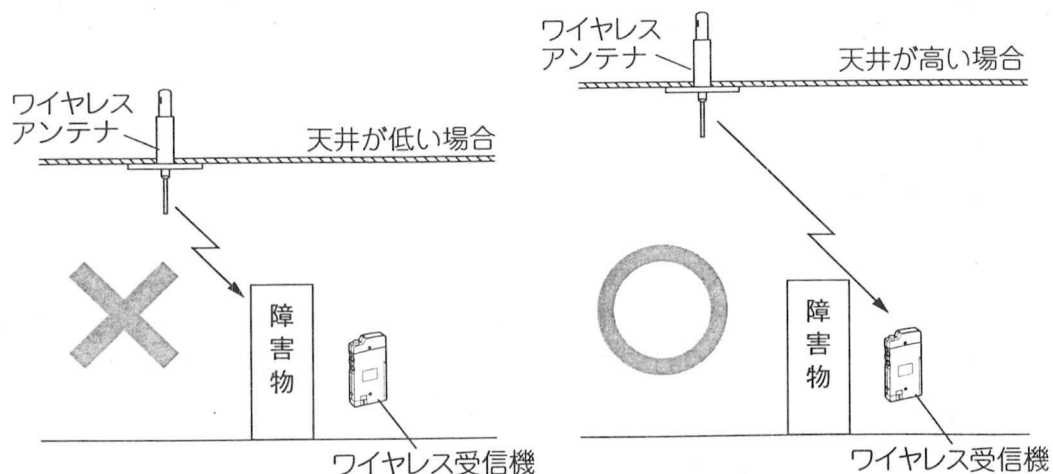


- トークスイッチAを押すと、 1F+2Fに音声が出力されます。
- トークスイッチB (B11)を押すと、 2Fのみに音声が出力されます。
- トークスイッチB (B12)を押すと、 1Fのみに音声が出力されます。

お願い

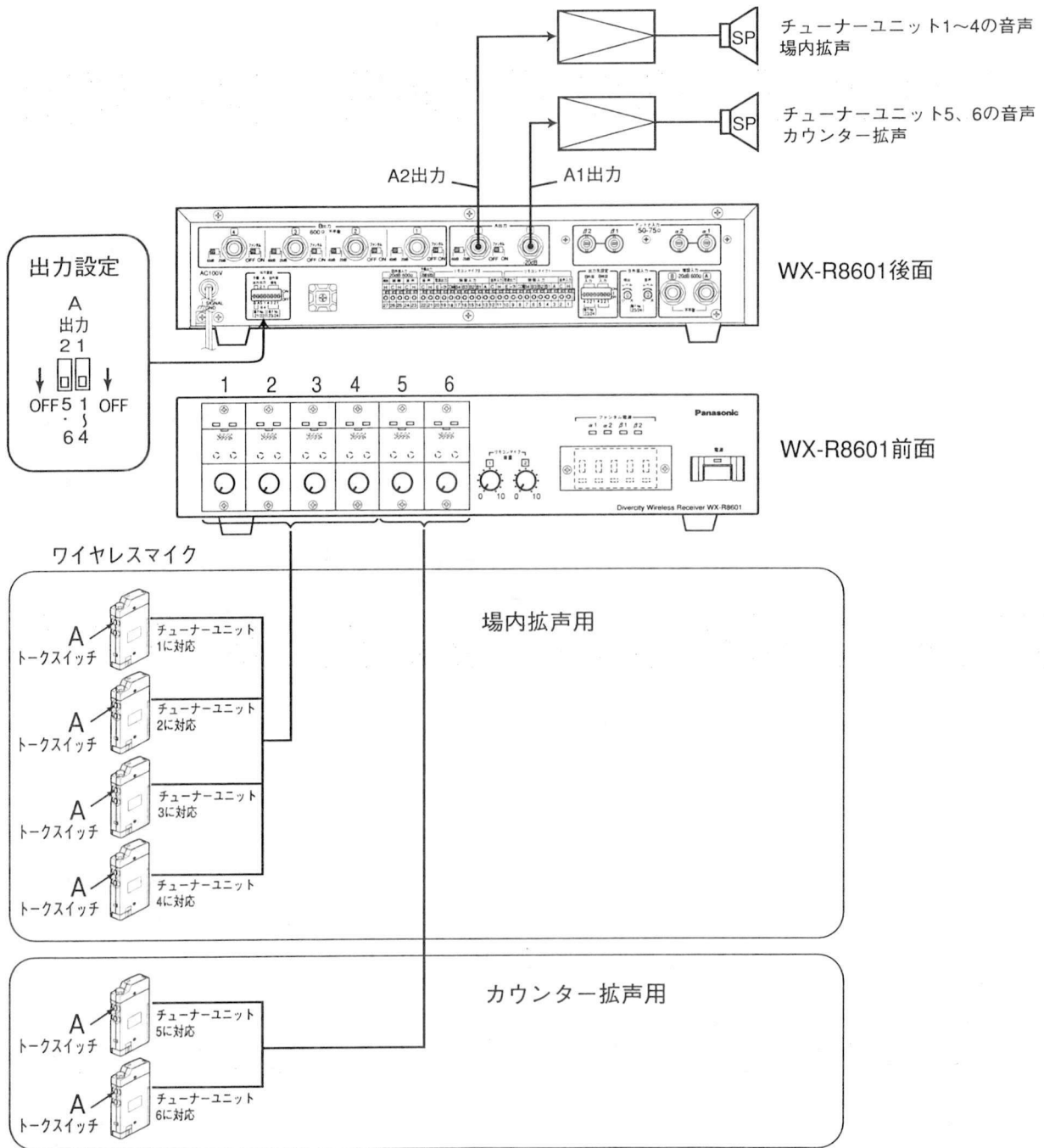
トークA2、トークB1~B4出力には、天井取付キット WX-AZ910 (別売品) を使用して、ワイレスマイクロホン WX-T3400 (別売品) を接続することができます。

- トークA1出力は、ファンタム電源出力機能がありませんので、ワイレスマイクロホンは接続できません。
- ワイレスマイクロホンはできるだけ、天井の高い位置 (3 m以上) に設置してください。
天井が低い場合は、障害物により、使用エリアがせまくなります。
- 詳しくは、天井取付キット WX-AZ910、ワイレスマイクロホン WX-T3400、ワイレス受信機WX-R3101の取扱説明書をお読みください。

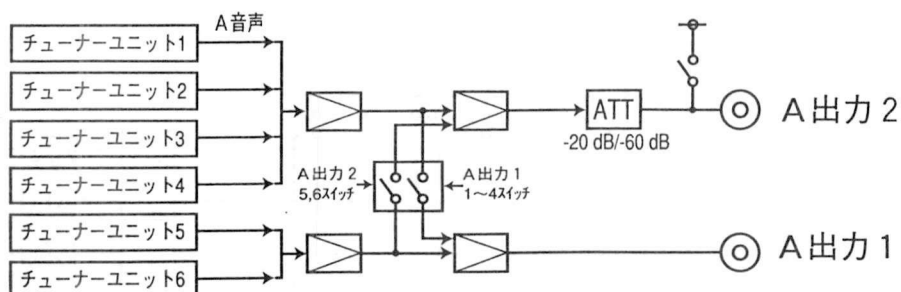


トークA出力の使いかた

チューナーユニットの装着場所により、A1,A2の2系統のトークA音声を出力することができます。
A出力設定スイッチ⑧により選択します。

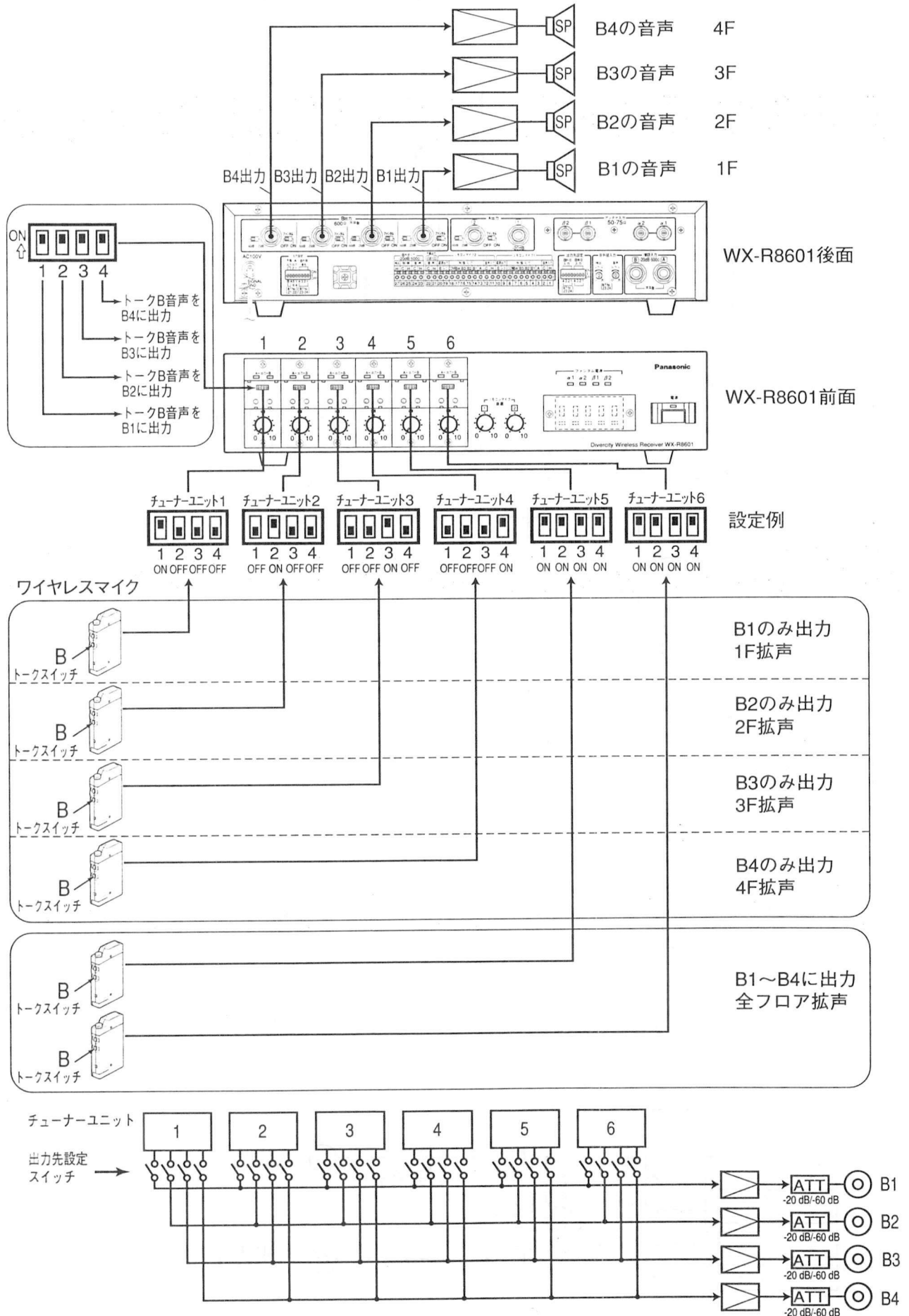


出力設定A出力1,2を「ON」にすることにより、チューナーユニット1~6をA出力1,2から出力することもできます。(19ページ参照)

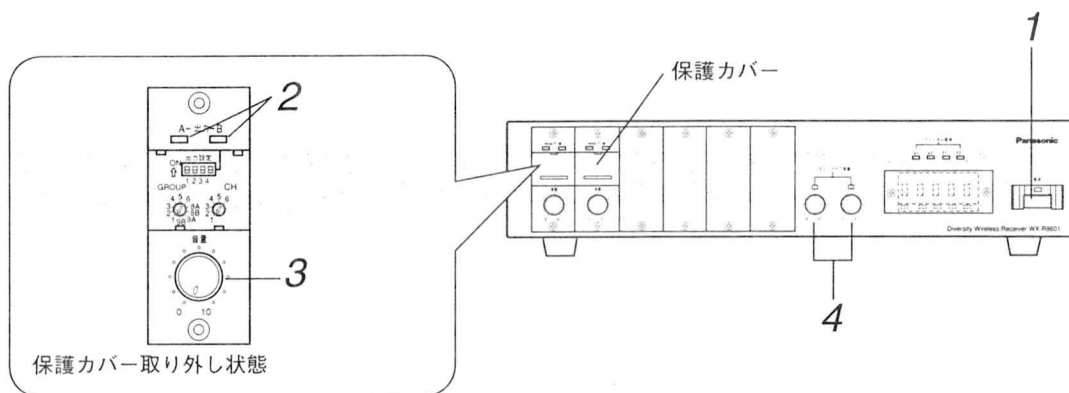


トークB出力の使いかた

チューナーユニットの出力設定スイッチにより、後面のB1,B2,B3,B4を選択出力できます。

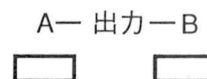


操作のしかた



- 1** 電源スイッチ⑦を押します。
電源表示灯⑧が点灯します。

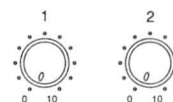
- 2** ワイヤレスマイク(別売品)のトークA、Bスイッチを押し、受信表示灯⑨⑩が点灯することを確認します。
●ワイヤレスマイクのグループ・チャンネル設定については、ワイヤレスマイクの説明書をご参照ください。



- 3** トークA、Bを受信音量調節つまみ⑭でお好みの音量に調節します。



- 4** リモコンマイクWX-M900,M900A(別売品)を接続している場合は、リモコンマイク音量調節つまみ④でお好みの音量に調節します。



接続のしかた

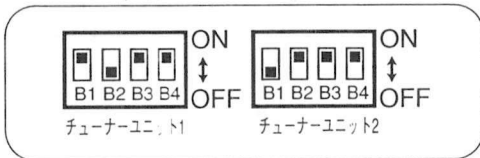
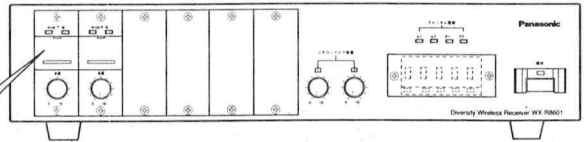
■2チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WX-R8601を1台使用した例

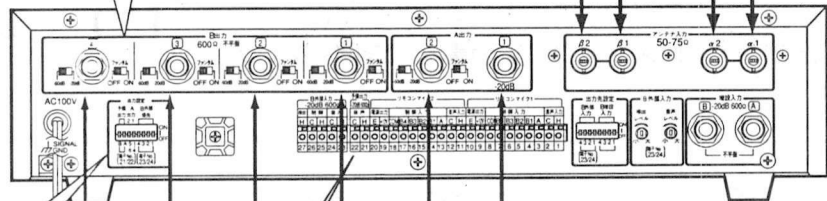
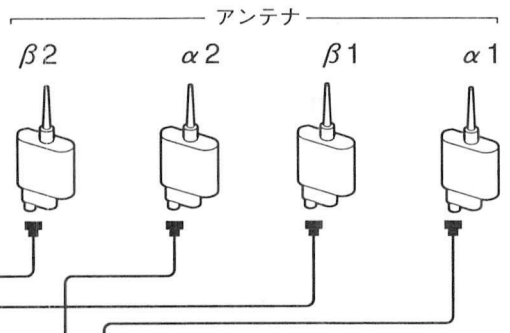
トークA 出力

トークB 2チャンネルミキシング1出力 B1~B4

1~6グループを使用して2波同時運用できます。

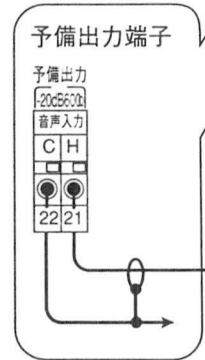
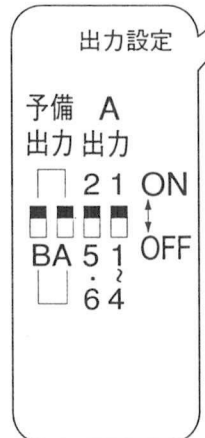


チューナーユニット	1	2
B音声出力先	B1, B3, B4	B2, B3, B4



後面

.....複式プラグ
.....BNCコネクタ



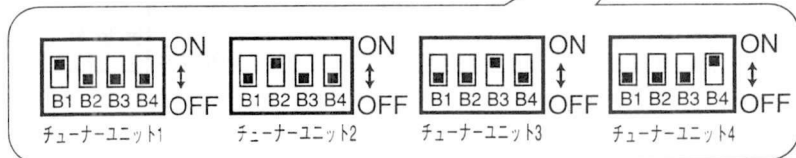
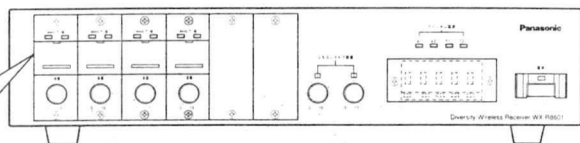
- (トークA)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット1,チューナーユニット2のトークA
ミキシング音声を出力します。
- (トークA)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット1,チューナーユニット2のトークA
ミキシング音声を出力します。
- (トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット1の出力が出ます。
- (トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット2の出力が出ます。
- (トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット1,チューナーユニット
2のトークBミキシング音声を出力します。
- (トークA+トークB)接続機器のライン入力端子へ
チューナーユニット1,チューナーユニット2のトークAと
トークBミキシング音声を出力します。

チューナーユニ
ットのトークB
音声出力設定に
よりミキシング
出力可能

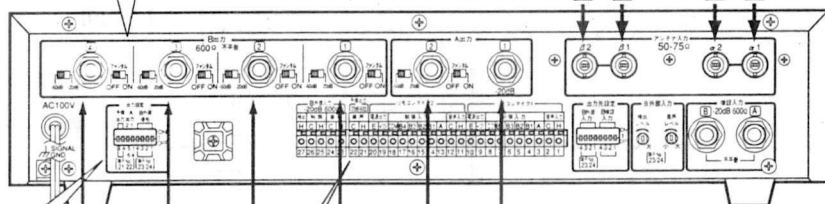
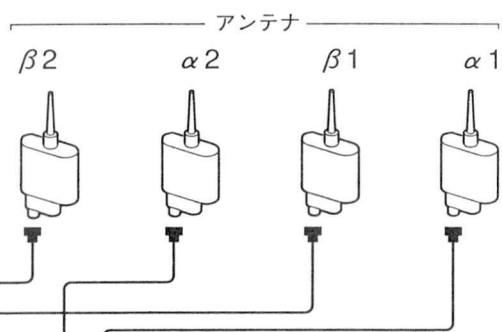
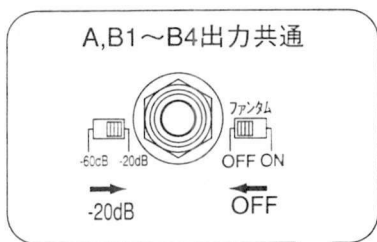
4チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WX-R8601を1台使用、WX-D8200を2台増設した例

- トークA 出力
- トークB 2チャンネル出力+ミキシング 1 出力
- 1~6グループを使用して4波同時運用できます。



チューナーユニット	1	2	3	4
B音声出力先	B1	B2	B3	B4



後面

-複式プラグ
-BNCコネクタ



接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット1~4のトークA音声 のみミキシング出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット1~4のトークA音声 のみミキシング出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット1のトークB音声の み出力します。	チューナーユニ ットのトークB 音声出力設定に よりミキシング 出力可能
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット2のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット3のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット4のトークB音声の み出力します。	
接続機器のライン入力端子へ チューナーユニット1~4のトークA音声 とトークB音声をミキシング出力します。 ※B1,B2,B3,B4はA出力に対し出力レ ベルが6dB低下します。	出力モード設定 スイッチにより トークAのみ、 トークBのみの 設定可能

接続のしかた

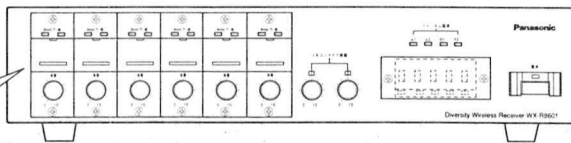
■6チャンネルダイバシティ受信方式の場合

※WX-R8601を1台使用、WX-D8200を4台増設した例

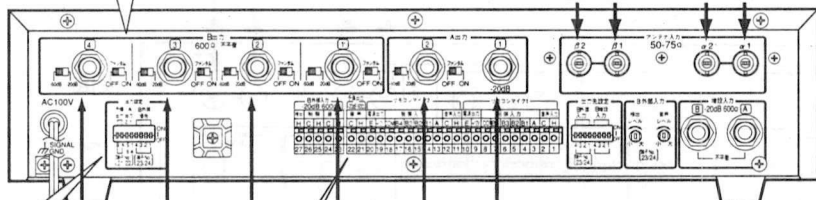
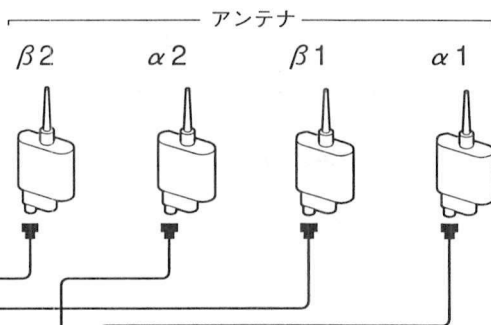
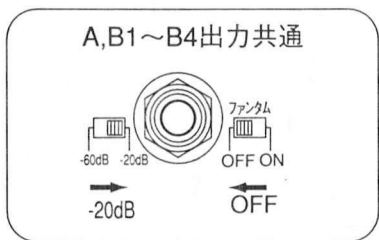
トークA 出力

トークB 4チャンネル出力+ミキシング1出力

1~6グループを使用して6波同時運用できます。

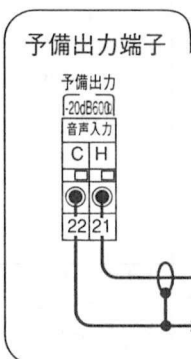
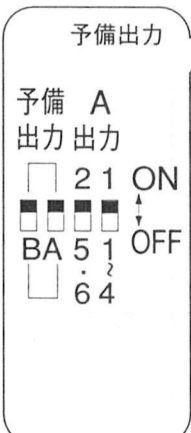


チューナーユニット	1	2	3	4	5	6
B音声出力先	B1	B2	B3	B4		



後面

.....複式プラグ
.....BNCコネクタ



接続機器のライン入力端子へチューナーユニット1~6のトークA音声のみミキシング出力します。	出力設定A出力1をOFFに設定するとチューナーユニット5,6のA音声のみ出力可能
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット1~6のトークA音声のみミキシング出力します。	出力設定A出力2をOFFに設定するとチューナーユニット1~4のA音声のみ出力可能
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット1のトークB音声のみ出力します。	チューナーユニットのトークB音声出力設定によりミキシング出力可能
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット2のトークB音声のみ出力します。	
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット3のトークB音声のみ出力します。	
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット4, 5, 6のトークB音声のみ出力します。	
接続機器のライン入力端子へチューナーユニット1~6のトークA音声とトークB音声をミキシング出力します。 ※B1,B2,B3,B4はA出力に対し出力レベルが6 dB低下します。	出力モード設定スイッチによりトークAのみトークBのみの設定可能

■12チャンネルダイバシティ受信方式の場合

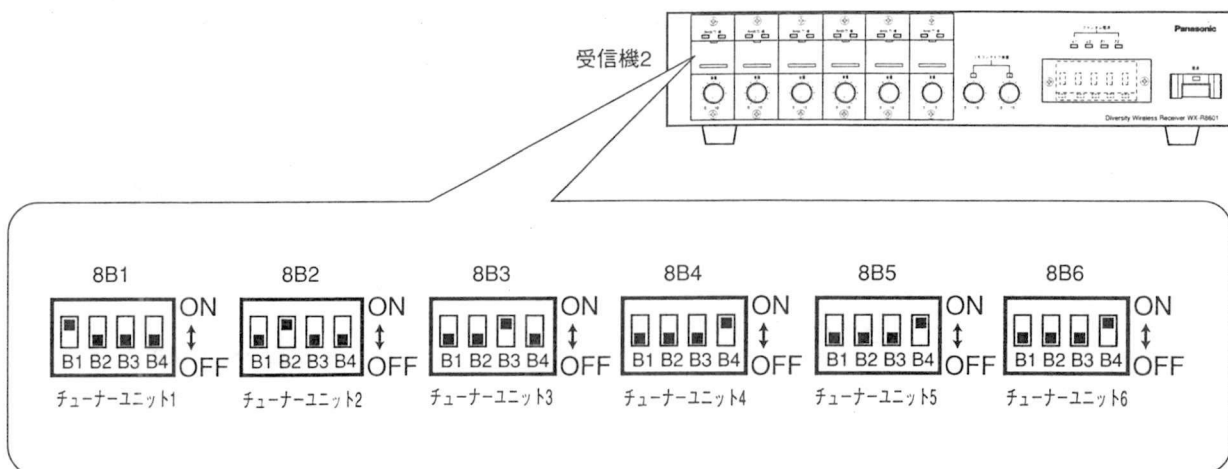
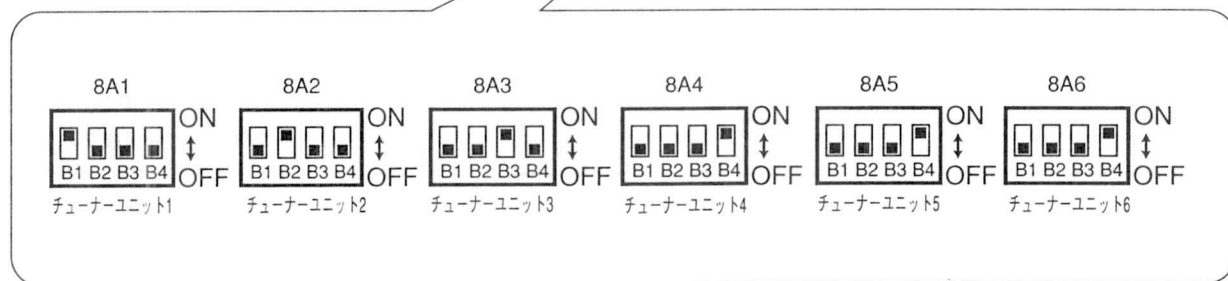
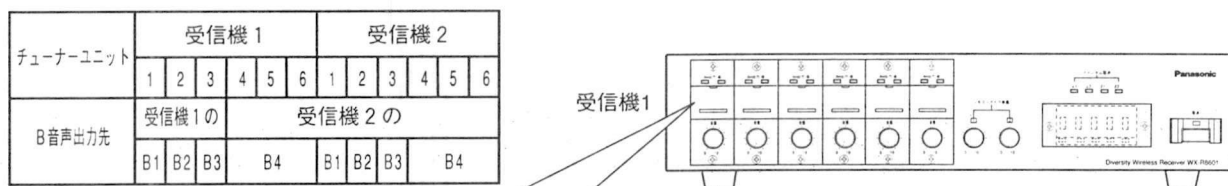
※WX-R8601を2台使用、WX-D8200を8台増設した例

トークA 出力

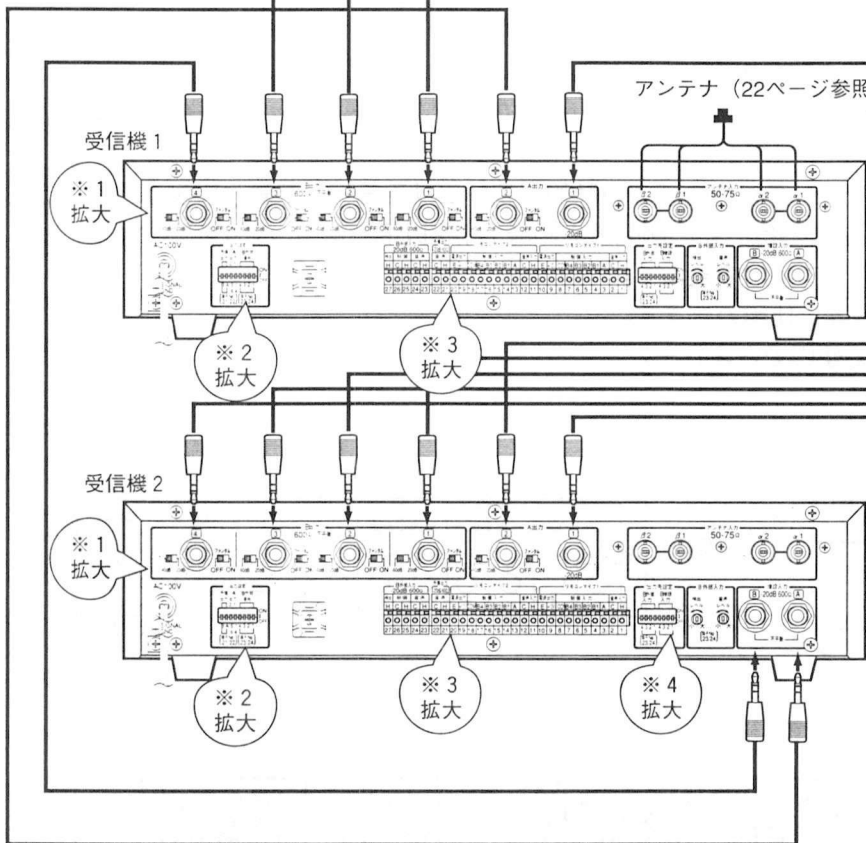
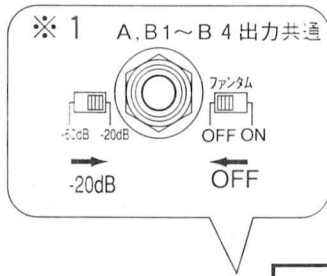
トークB B1~B4 6チャンネル出力+ミキシング1出力

(8A,8B), (9A,9B) グループで、12波同時運用できます。

- アンテナの接続方法は、'アンテナについて' (22ページ) を参照してください。
- 受信機を2台使用する場合、2台とも電源スイッチを入れてください。
どれか1台の電源スイッチを切ると、音声は出力されません。
- 7~12チャンネル運用は、他ワイヤレスシステムの1~7グループ、本システムの1~6グループと同一空間では使用できません。
- グループ8A、8B、9A、9B運用では、受信機内部で自動的に狭いエリアモードで動作しますので、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンテナの距離は、使用範囲最大距離の1/2以下で使用してください。
- 8Aグループと8Bグループは同一空間で使用できます。
- 9Aグループと9Bグループは同一空間で使用できます。
- 8Aと9A、8Aと9B等は同一空間で使用できません。



接続のしかた



増設入力のしかたは、20ページを参照してください。

※2 予備出力の出力音声の設定について

受信機 1

スイッチNO.	トークB	トークA	
設定	ON	ON	トークAとトークB1~B4ミキシング音声
	ON	OFF	トークB1~B4ミキシング音声
	OFF	ON	トークA音声のみ
	OFF	OFF	音声は出力しません

受信機 2

スイッチNO.	トークB	トークA	
設定	ON	ON	受信機1と2のトークAとトークB1~B4ミキシング音声を出力します
	ON	OFF	受信機1と2のトークB1~B4ミキシング音声を出力します
	OFF	ON	受信機1と2のトークA音声を出力します
	OFF	OFF	音声は出力しません

予備出力

ON
OFF

B A

端子No. 21/22

受信機 1
チューナーユニット1のトークB音声のみ出力します。

受信機 1
チューナーユニット2のトークB音声のみ出力します。

受信機 1
チューナーユニット3のトークB音声のみ出力します。

受信機 1
チューナーユニット1~6のトークA音声を出力します。
スイッチによりチューナーユニット5、6のみ設定可能です。

受信機 1のチューナーユニット1~6のトークAの音声と、受信機2のチューナーユニット1~6のトークAの音声をミキシング出力します。

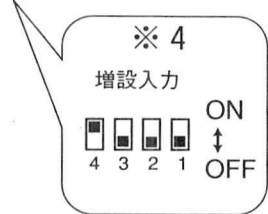
受信機 2
チューナーユニット1のトークB音声のみ出力します。

受信機 2
チューナーユニット2のトークB音声のみ出力します。

受信機 2
チューナーユニット3のトークB音声のみ出力します。

受信機 1のチューナーユニット4、5、6のトークB音声と受信機2のチューナーユニット4、5、6のトークB音声をミキシング出力します。

受信機 1 と 受信機 2
チューナーユニット1~6のトークA音声を出力します。
スイッチによりチューナーユニット5、6のみ設定可能です。



.....複式プラグ

.....BNCコネクタ

●A出力1,2の設定について

出力設定A出力1,2の設定により、各受信機のA1,A2音声出力を設定できます。

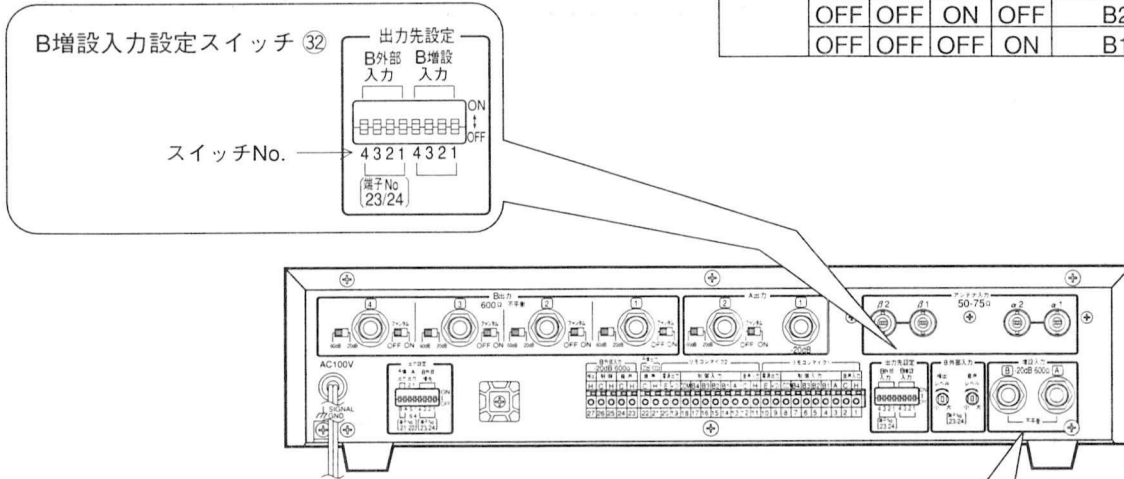
スイッチ設定	受信機	出力モード	
受信機 1 A 出力 2 1 ON <input type="checkbox"/> ON ↑ ↓	受信機 1	出力A 1	受信機 1 のチューナーユニット 1～6 のA音声 (チャンネル 8 A 1～8 A 6) を出力します。
受信機 2 A 出力 2 1 ON <input type="checkbox"/> ON ↑ ↓	受信機 2	出力A 1 出力A 2	受信機 1 と受信機 2 のチューナーユニット 1～6 のA音声 (チャンネル 8 A 1～8 A 6 + 8 B 1～8 B 6) を 出力します。
受信機 1 A 出力 2 1 OFF <input type="checkbox"/> OFF ↓ ↓	受信機 1	出力A 1	受信機 1 のチューナーユニット 5, 6 のA音声 (チャンネル 8 A 5, 8 A 6) を出力します。
受信機 2 A 出力 2 1 OFF <input type="checkbox"/> OFF ↓ ↓	受信機 2	出力A 1	受信機 2 のチューナーユニット 5, 6 のA音声 (チャンネル 8 B 5, 8 B 6) を出力します。
		出力A 2	受信機 1 のチューナーユニット 1～4 のA音声と 受信機 2 のチューナーユニット 1～4 のA音声 を出力します。

増設入力について

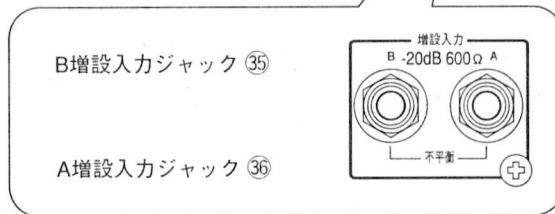
本機を2台使用して、7波～12波運用する場合に使用します。

- A増設入力は、ミキシング出力します。
- B増設入力のみ、B増設入力設定スイッチ③②により、出力先を設定できます。

機能	B4	B3	B2	B1	B外部入力音声の出力先
設定	ON	ON	ON	ON	B1～B4すべて出力
	ON	OFF	OFF	OFF	B4のみに出力
	OFF	ON	OFF	OFF	B3のみに出力
	OFF	OFF	ON	OFF	B2のみに出力
	OFF	OFF	OFF	ON	B1のみに出力



- 増設入力ジャック③⑤③⑥
-20 dB 600 Ω 不平衡
大形複式、リング部は制御として使用
- 増設入力接続時は、リング部を制御端子として使用するため複式プラグで接続します。
- 接続先のA出力、B出力の設定は18ページを参照してください。



●具体的な使用例

- ワイヤレスマイク12チャンネル音声を4グループの音声出力に分割する場合
- A出力はミキシング出力します。

チャンネル	8A1	8A2	8A3	8A4	8A5	8A6	8B1	8B2	8B3	8B4	8B5	8B6
受信機	1						2					
音声出力	B1			B2			B3			B4		
トクB音声出力モード設定スイッチ①①	 チューナーユニット1			 チューナーユニット2			 チューナーユニット3			 チューナーユニット4		
出力端子	B1 B1音声出力機器へ接続 B2 B2音声出力機器へ接続 B3 受信機2B増設入力へ接続 B4 接続しません						接続しません 接続しません B3音声出力機器へ接続 B4音声出力機器へ接続					
設定							B増設入力設定 スイッチ③② 					

●接続のしかた

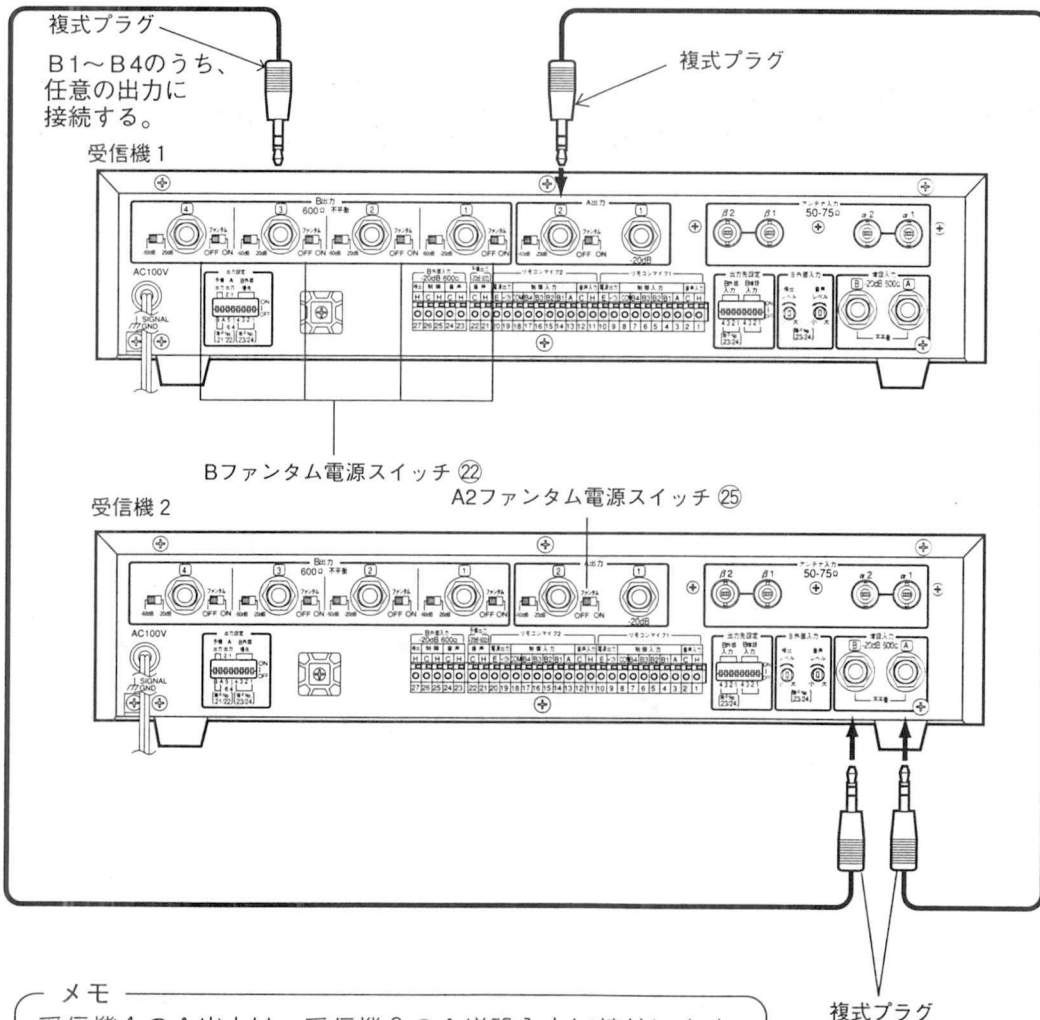
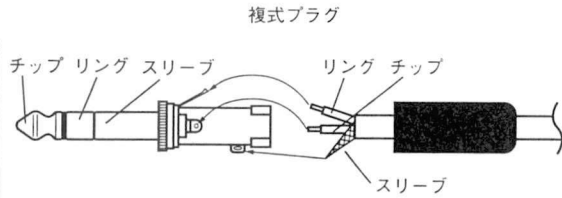
ファンタム電源について

- ファンタム電源スイッチ②⑤は、「OFF」設定
でご使用ください。

ファンタム：OFF
レベル：-20 dB

- ファンタム電源スイッチ②⑤の動作

ファンタム電源スイッチ	ON	OFF
チップ	音声 H	
リング	ファンタム電源供給 DC7.5V 65 mA	B1~B4 制御送り
スリーブ	音声 C	



メモ

受信機 1 の A 出力は、受信機 2 の A 増設入力に接続します。
受信機 1 の B 出力は、受信機 2 の B 増設入力に接続します。

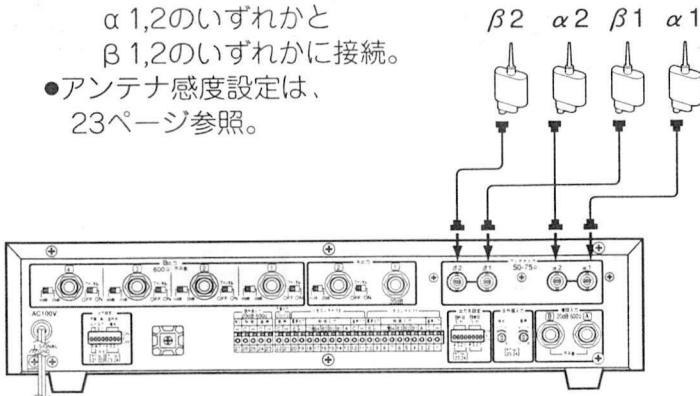
複式プラグ

アンテナについて

本機には、専用アンテナ WX-A8100/WX-A8105/WX-A8110(別売品)を使用します。最大8台まで接続できます。その他のアンテナでは、正常に動作しません。

●本機 1台、アンテナ 2~4台 使用の場合

- アンテナ2本の場合は、
α 1,2のいずれかと
β 1,2のいずれかに接続。
- アンテナ感度設定は、
23ページ参照。



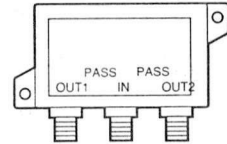
●本機 1台、アンテナ 5~8台 使用の場合

- アンテナ混合器 D-772CX3を使用します。
- アンテナ感度設定は、23ページ参照。
α 1-1とα 1-2, α 2-1とα 2-2, β 1-1とβ 1-2, β 2-1とβ 2-2は同一のアンテナ感度設定になります。
- 使用する同軸ケーブルは混合器の接続により短くなります。(23ページ参照)

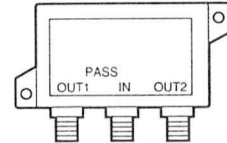
※アンテナ混合器(推奨品)
.....アンテン株式会社製

☎0424-81-8413
品番は1998年3月現在のものです。

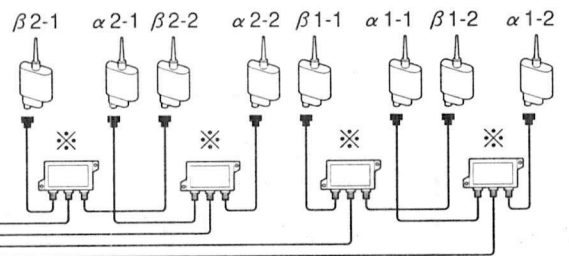
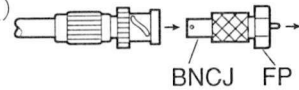
●D-772CX3



●D-772CX2 (出力1のみ電流通過型)



- 50Ω系同軸ケーブル使用の場合は、FP-BNCJアダプタをご使用ください。(別途購入)

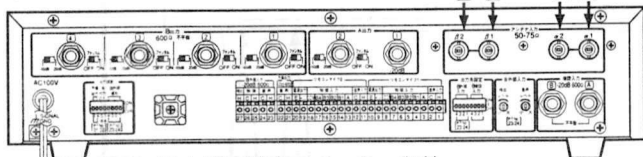


※アンテナ混合器(推奨品)
D-772CX3

●本機 2台、アンテナ 2~4台 使用の場合

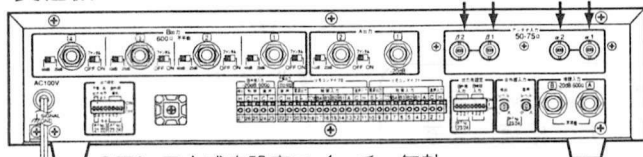
- アンテナ混合器 D-772CX2を使用します。
- アンテナ感度設定は、23ページ参照。
混合器のOUT 1に接続した受信機からのみ可能。
混合器のOUT 2に接続した受信機のアンテナ表示灯は、消灯します。

受信機 1

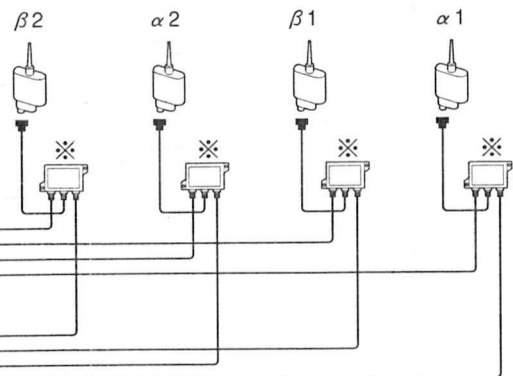


- アンテナ感度設定スイッチ...有効
- ファンタム電源表示灯.....点灯

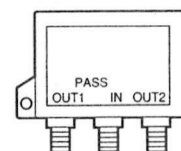
受信機 2



- アンテナ感度設定スイッチ...無効
- ファンタム電源表示灯.....消灯



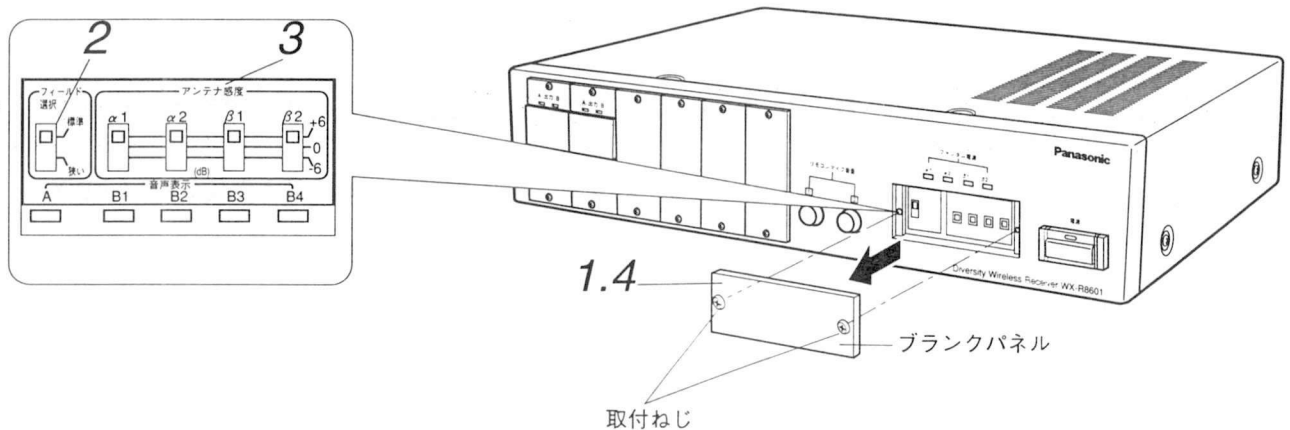
※アンテナ混合器(推奨品)
D-772CX2



受信機 1へ ← → 受信機 2へ

フィールド・アンテナ感度の設定

アンテナの受信するフィールドの大きさと、各アンテナの感度を設定します。
アンテナ感度は、各アンテナを直接接続した受信機のアンテナ感度設定スイッチ⑬で設定します。



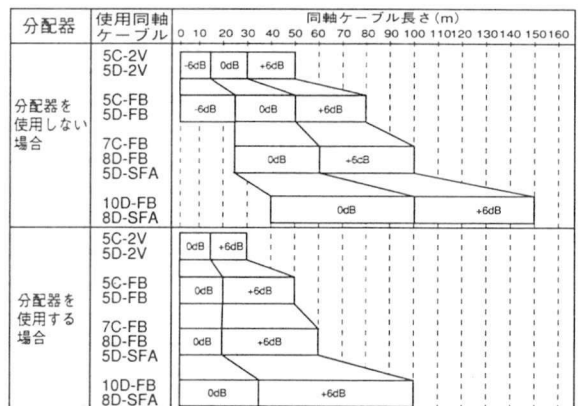
1 取付ねじ(2本)をゆるめて、blankパネルを外します。

2 フィールド選択スイッチ⑮で、フィールドを設定します。
各アンテナすべての受信感度を、使用するフィールドに合わせて個別に設定します。

使用場所 (参考例)		パチンコ店	小会議室	宴会場
使用範囲 アンテナからマイクまでの距離	最大	15m	8m	20m
	最小	2m	1m	2m
フィールド選択スイッチ	標準	●		●
	狭い		●	

3 アンテナ感度設定スイッチ⑬で、アンテナ感度を設定します。

- 各アンテナの同軸ケーブルに合わせて、個別に設定します。
- 50Ω系の同軸ケーブルも同様に使用できます。
5C-2V= 5D-2V
5C-FB= 5D-FB
7C-FB= 8D-FB=5D-SFA
10D-FB=8D-SFA
- 5C-FB以上の同軸ケーブルを使用する場合は、専用コネクタを使用し、BNC変換ケーブルで本機に接続してください。
- 50Ω系ケーブルを使用する場合は、変換ケーブルも50Ω系を使用してください。



数字は感度設定位置を示します。

4 1で外したblankパネルを元通りに取り付けます。

お願い

実動作試験により音切れが多く発生する場合は、アンテナ感度設定スイッチ⑬を1ポジション上げてください。[例] -6 dB→0 dB

受信するグループ・チャンネルについて

チューナーユニット1,2のグループ・チャンネルを設定します。

チューナーユニット WX-D8200(別売品)を増設した場合は、チューナーユニット1,2のグループ・チャンネルと同様にグループ・チャンネルを設定します。

お願い

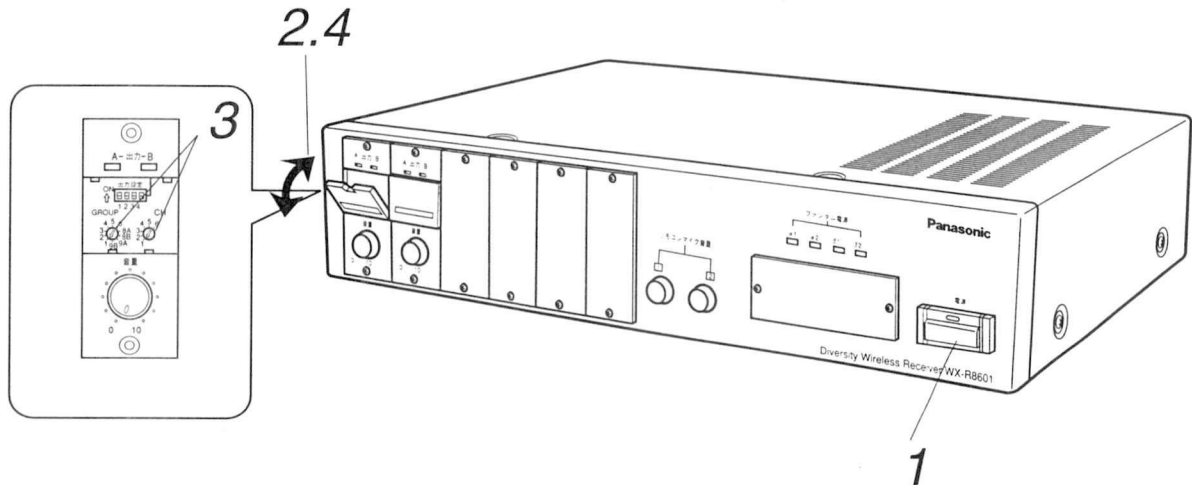
- チューナーユニット1~6は、同一グループ・異チャンネルで使用してください。同じにすると、混信・ビートの原因になります。
- Panasonic拡声ワイヤレスシステム(WX-4000シリーズ)と同一空間で使用する場合は本受信システムとWX-4000シリーズを、1つのグループに統一します。
 - ・たとえばグループ1を使用する場合、チャンネル1~3をWX-4000シリーズに、チャンネル3~6を本受信システムに設定します。
 - ・WX-4000シリーズをグループ1に設定し、本受信システムをグループ2に設定して使用することはできません。また、WX-4000シリーズはトーン周波数が異なるため、ワイヤレス受信機WX-R8601を共用することはできません。
- グループ8A,8B,9A,9Bを使用する場合はワイヤレス受信機WX-R8601を2台使用して7~12波を使用する場合は、グループ8A,8B,9A,9Bを使用します。この場合、次の点にご注意ください。
 - ・Panasonic拡声ワイヤレスシステム(WX-4000シリーズ)と同一空間では使用できません。
 - ・8Aと8B、9Aと9Bを組み合わせで使用します。8Aと9B、8Bと9B等の組み合わせでは使用できません。
 - ・7~12波の運用では、受信機内部のせまいエリアモードで動作しますので、本機とアンテナの距離を、使用範囲最大距離の1/2以下でご使用ください。

●受信周波数表

周波数(MHz)	グループ									
	1	2	3	4	5	6	8		9	
							A	B	A	B
806.125	B11						B8A1			
806.250		B21							B9A1	
806.375	B12									
806.500		B22					B8A2			
806.625			B31						B9A2	
806.750				B41			B8A3			
806.875			B32						B9A3	
807.000		B23								
807.125	B13						B8A4			
807.250						B61			B9A4	
807.375			B33				B8A5			
807.500				B42					B9A5	
807.625					B51					
807.750	B14						B8A6			
807.875		B24							B9A6	
808.000				B43				B8B1		
808.125					B52					B9B1
808.250			B34							
808.375					B53			B8B2		
808.500		B25								B9B2
808.625			B35					B8B3		
808.750					B54					B9B3
808.875		B26								
809.000	B15							B8B4		
809.125				B44						B9B4
809.250			B36					B8B5		
809.375				B45						B9B5
809.500	B16									
809.625					B55			B8B6		
809.750				B46						B9B6
運用チャンネル	6波運用						7~12波運用			

●設定のしかた

下記の手順で、チューナーユニット1,2の設定をします。
チューナーユニットを増設した場合も、同様に設定します。



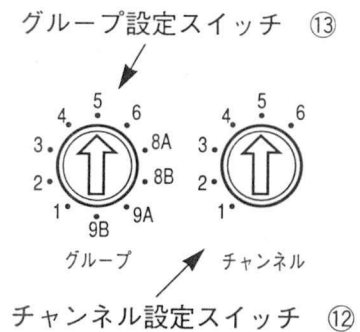
1 電源スイッチを「切」にします。

2 小型ドライバー(付属)を使って、保護カバーを外します。

3 小型ドライバー(付属)を使って、グループ設定スイッチ⑬、チャンネル設定スイッチ⑫の「↑」を、ワイヤレスマイクのグループ、チャンネルと同じ数字に合わせます。

チャンネルについて

1～6のポジションに合わせてください。その他のポジションに合わせると受信表示灯⑨⑩が点滅し、正常に設定できません。



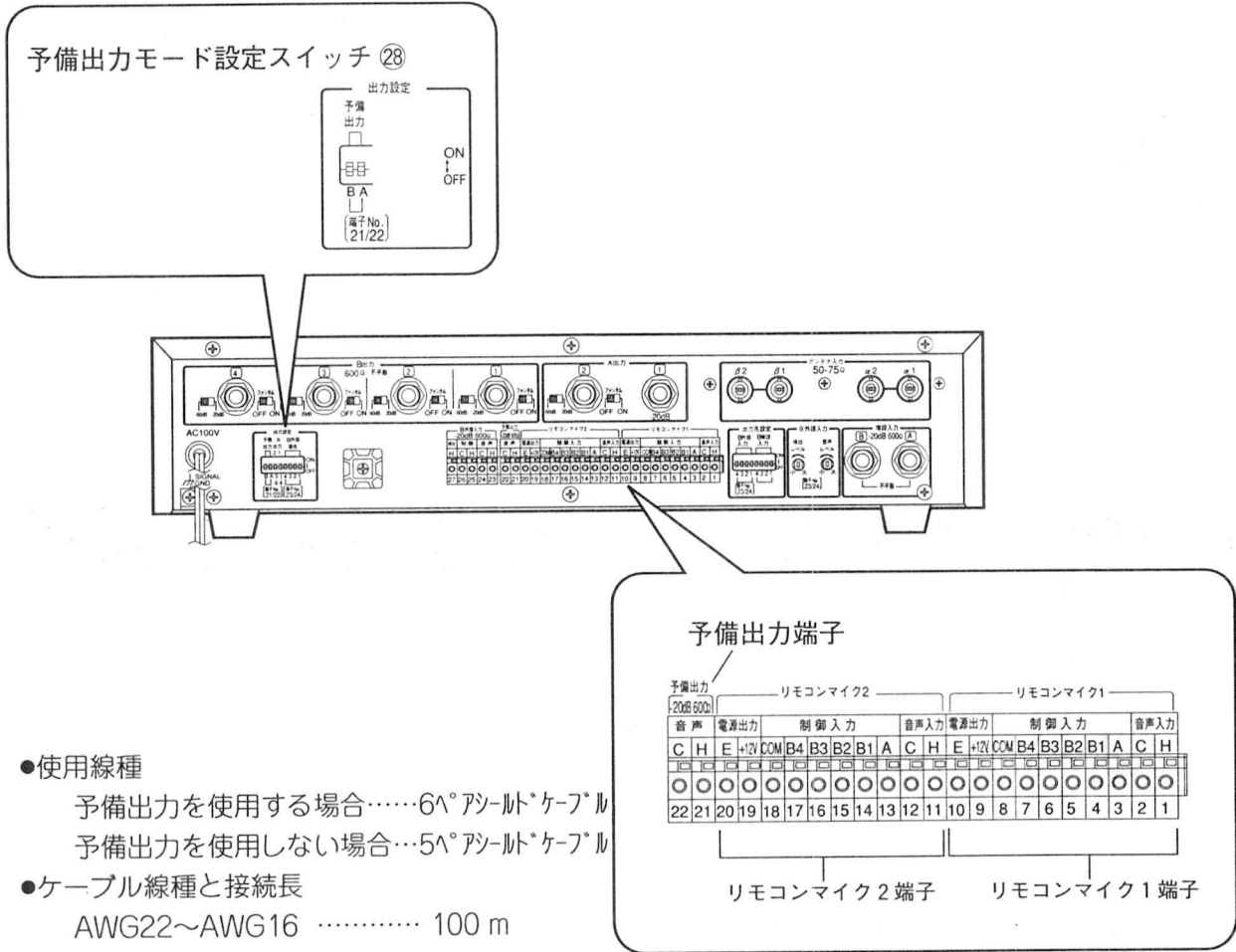
4 2で外した保護カバーを元通りに取り付けます。

リモコンマイクについて

リモコンマイク WX-M900, WX-M900A(別売品)を、
最大2台まで接続できます。

- 予備出力モード設定スイッチ⑳により、
リモコンマイクに出力するモニター音声を
設定します。

機能設定	トークB	トークA	出力音声
	ON	ON	すべての音声を出力 (トークA+トークB1~B4ミキシング音声)
	ON	OFF	トーク B1~B4ミキシング音声のみ出力
	OFF	ON	トークA音声のみ出力
	OFF	OFF	音声出力なし

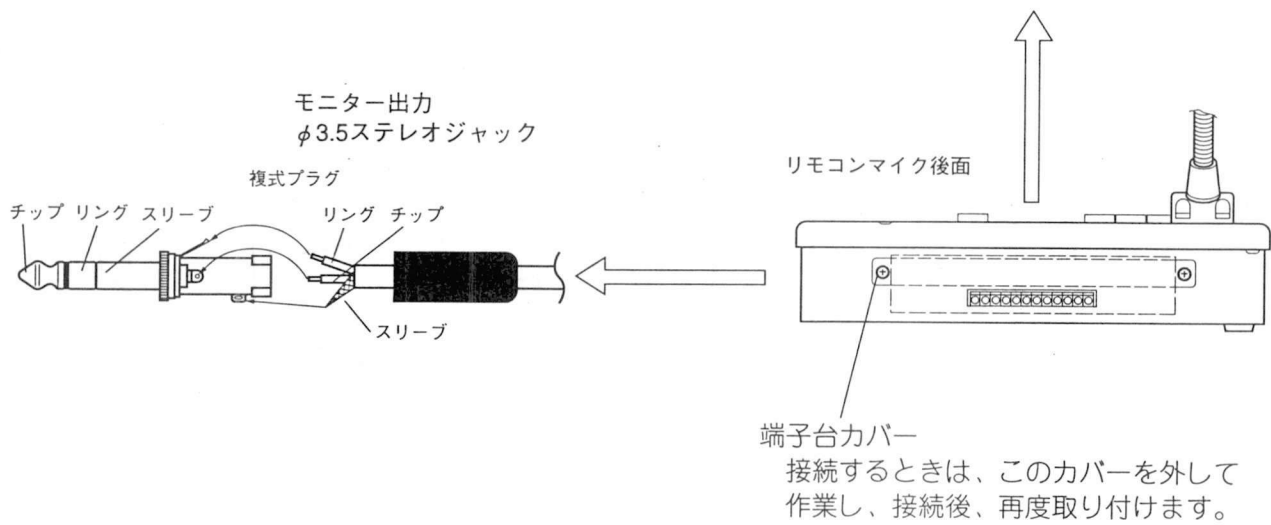
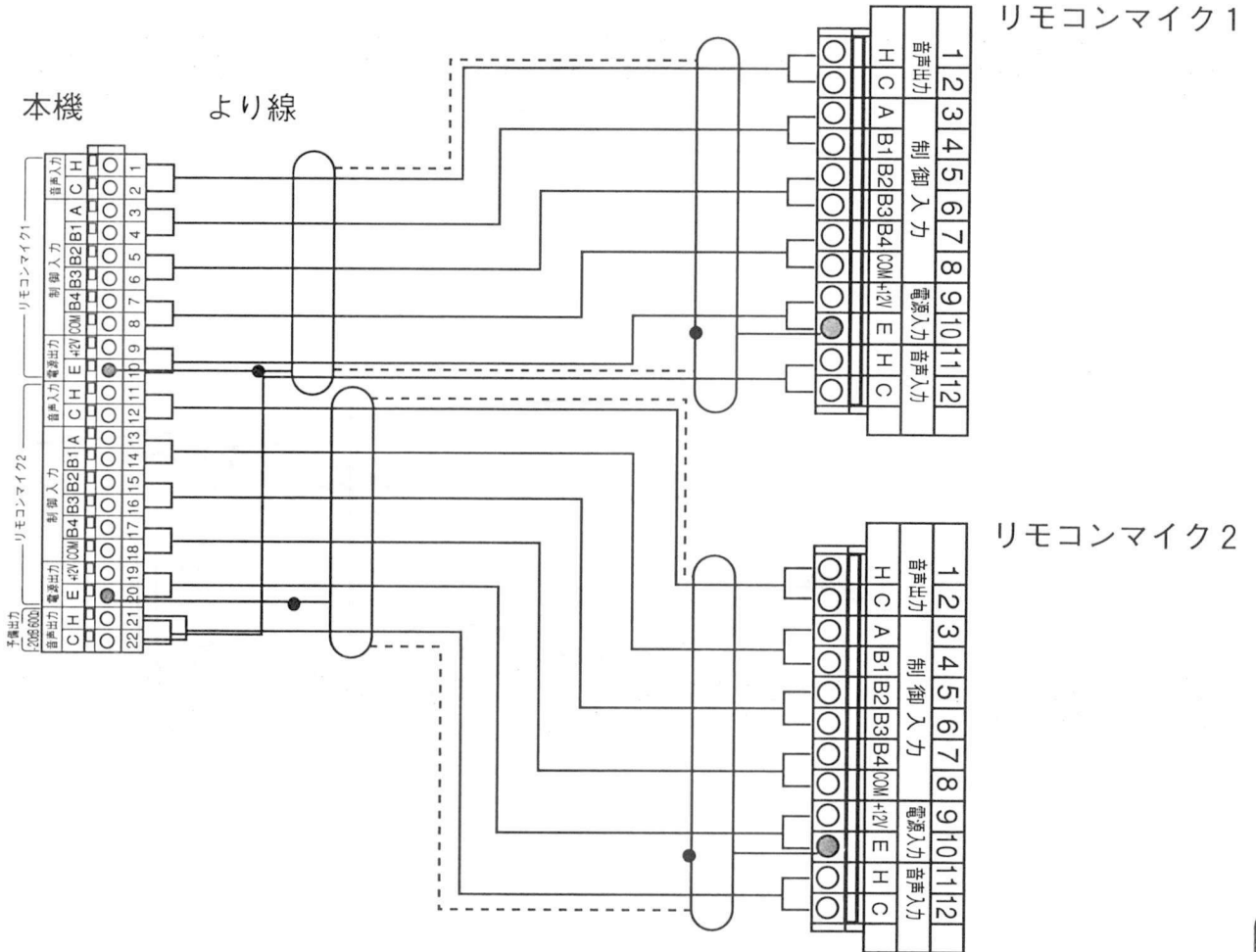


- 使用線種
予備出力を使用する場合……6 π アールケーブル
予備出力を使用しない場合…5 π アールケーブル
- ケーブル線種と接続長
AWG22~AWG16 …………… 100 m

●端子台適合電線

適合電線	単線 ϕ 1.2(AWG16)
	撚線 1.25 mm ² (AWG16)
使用可能電線範囲	単線 ϕ 0.4(AWG26) ϕ 1.2(AWG16)
	撚線 0.3 mm ² (AWG22)~1.25 mm ² (AWG16) 素線径 ϕ 0.18以上
標準むき線長さ	11 mm
ボタン操作用適合工具	マイナスドライバー(軸径 ϕ 3,刃先巾2.6)

●接続のしかた



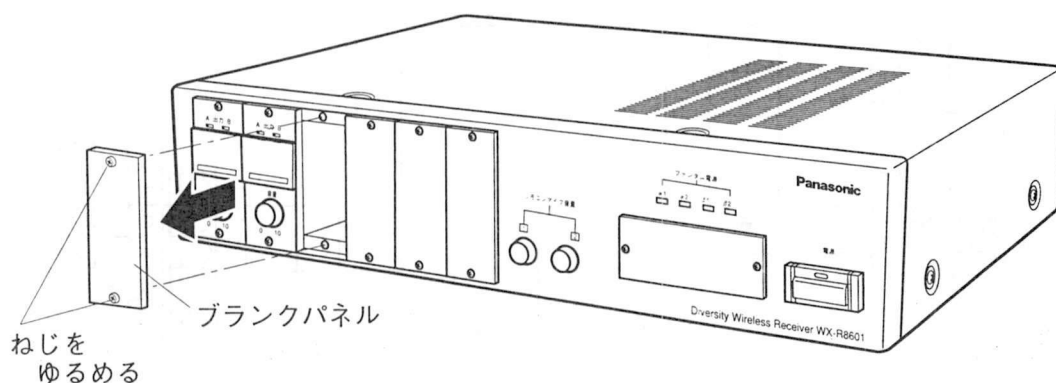
チューナーユニットの取り付け

本機にチューナーユニット WX-D8200(別売品)を取り付けます。

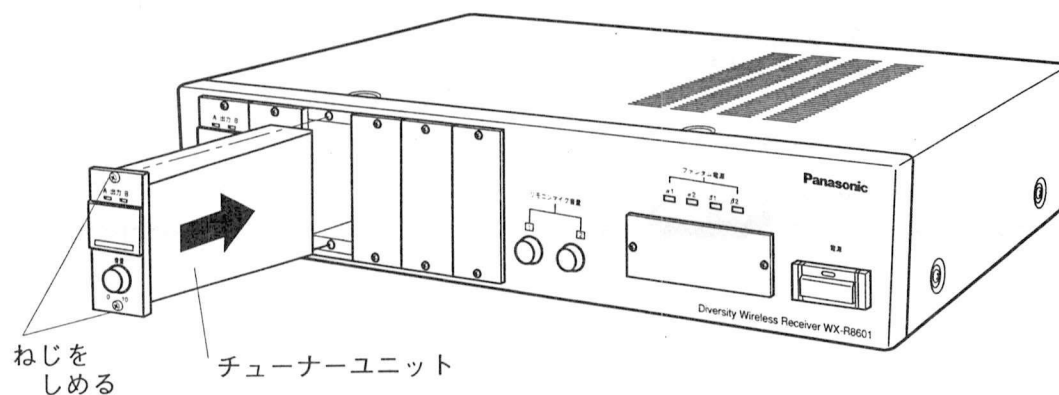
お願い

- 必ず電源を切ってから、行ってください。
- チューナーユニットを取り付ける際は、静電気などに充分注意し、慎重に行ってください。
- チューナーユニットの上下を必ずご確認ください。

- 1** ねじ(2ヶ所)をゆるめて、ブランク
パネルを取り外します。

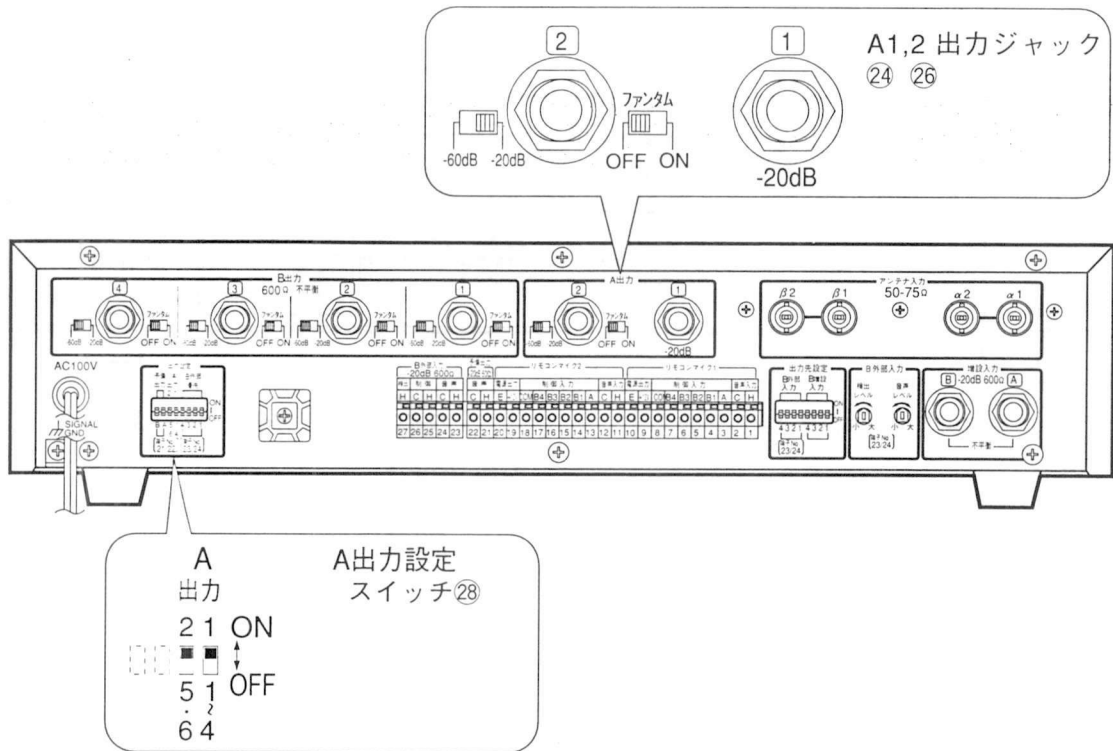


- 2** チューナーユニットをはめこみ、ねじ(2ヶ所)をしめて取り付けます。



A出力について

A出力は2系統出力できます。



●A1出力ジャック

- ・ -20 dB 600 Ω 不平衡
- ・ A出力設定スイッチ⑳により、出力音声を切り換えできます。

●A2出力ジャック

- ・ -20 dB/-60 dB 切り換え 600Ω 不平衡
- ・ ファンタム電源 ON/OFF 切り換え
- ・ A出力設定スイッチ⑳により、出力音声を切り換えできます。

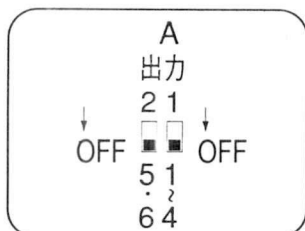
●A出力設定スイッチ⑳

- ・ 工場出荷時は、A1,A2ともに"ON"に設定されていますので、A1,A2共通の音声を出力します。
- ・ チューナーユニット5、6のみをカウンター拡声、チューナーユニット1~4、リモコンマイク1、2を場内拡声を使用する場合は、以下の設定にします。

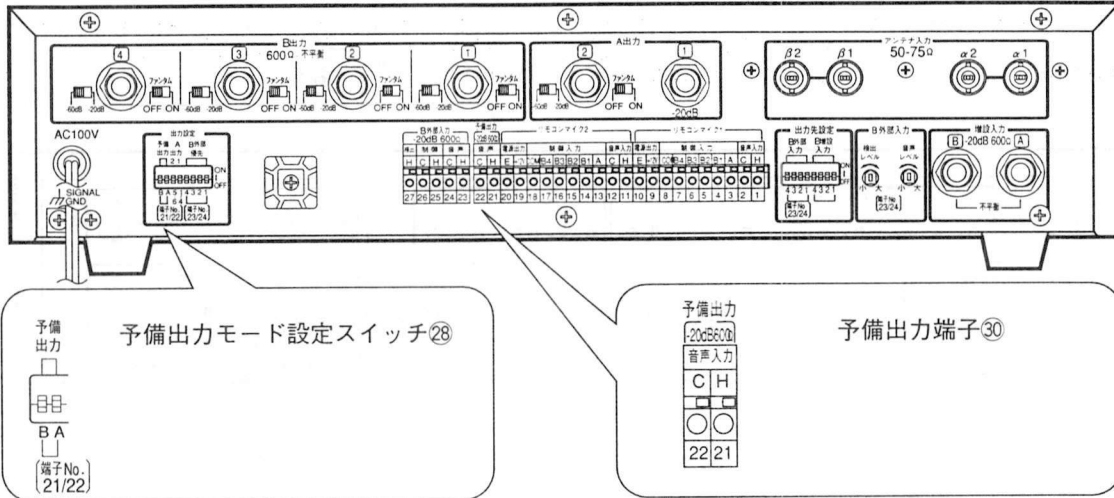
音声入力 A1出力設定	チューナーユニットA部						リモコンマイクA音声		増設入力A音声
	1	2	3	4	5	6	1	2	
ON	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OFF	×	×	×	×	○	○	×	×	×

音声入力 A2出力設定	チューナーユニットA部						リモコンマイクA音声		増設入力A音声
	1	2	3	4	5	6	1	2	
ON	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OFF	○	○	○	○	×	×	○	○	○

○：音声出力する。
×：音声出力しない。



予備出力について



●予備出力端子

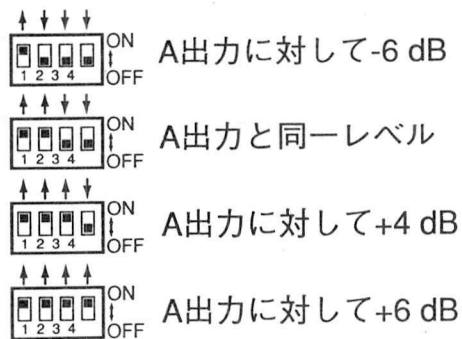
- 20 dB 600 Ω 不平衡
- 予備出力モード設定スイッチ⑳により、出力する音声を切り換えできます。
- リモコンマイクを使用する場合は、リモコンマイクに接続します。
(26,27ページ参照)

スイッチNo.	3	4	予備出力2の音声
機能	トークB	トークA	
設定	ON	ON	すべての音声を出力 (トークA+トークB1~B4ミキシング* 音声)
	ON	OFF	トークB1~B4ミキシング* 音声のみ出力
	OFF	ON	トークA音声のみ出力
	OFF	OFF	音声出力なし

●予備出力レベル

予備出力は、B1~B4の音声をミキシングするため、設定によってレベルが変化します。
トークB音声出力モード設定スイッチ⑪の設定と出力レベルを右図に示します。
予備出力接続機器側のレベルを調整してください。

[例]チューナーユニット1



B外部入力、優先機能について

B外部入力は、ワイヤレスマイク以外の音声入力をB1,B2,B3,B4にミキシング出力するための外部入力端子です。

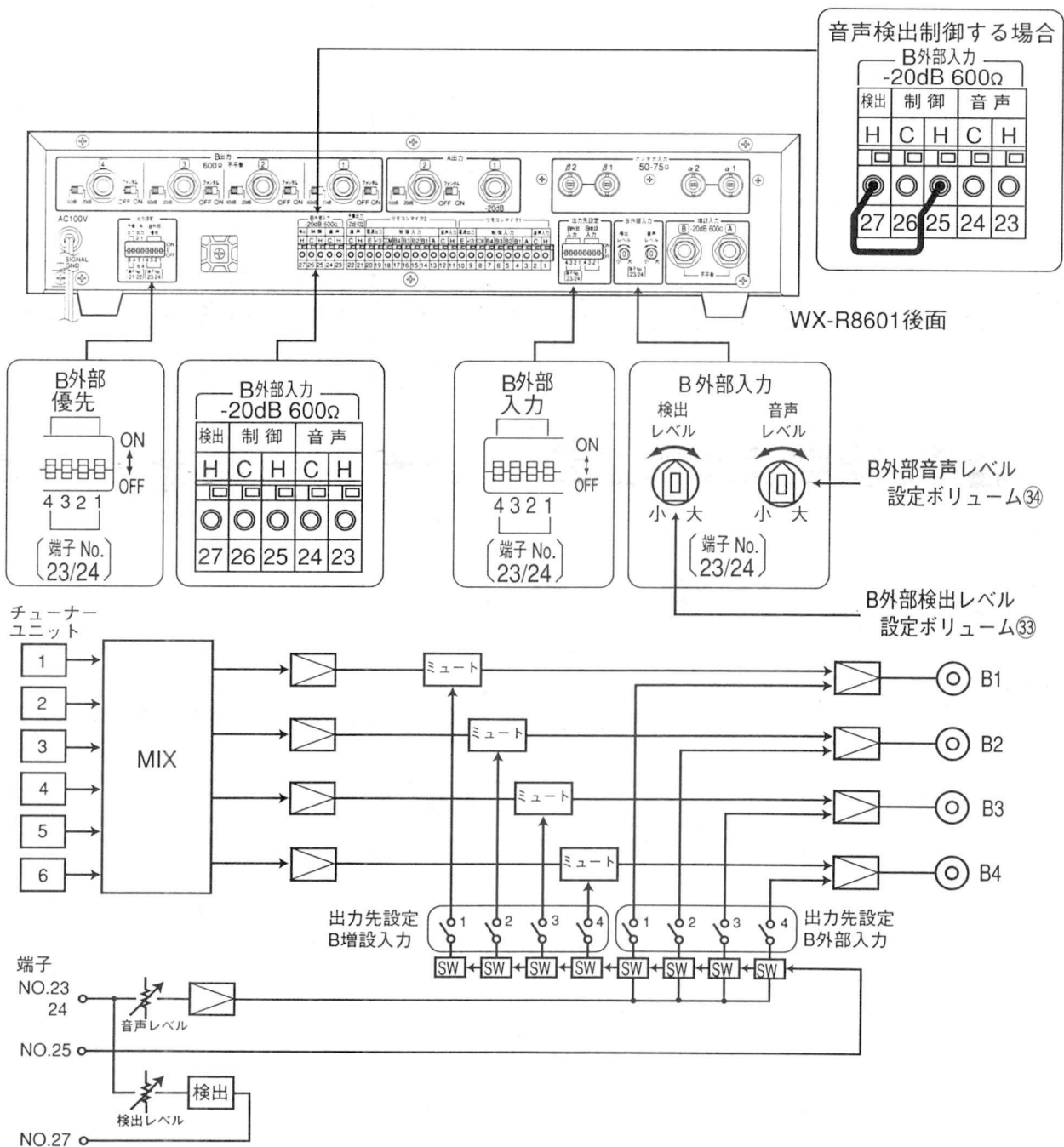
- 音声レベル調整が可能です。B外部音声レベル設定ボリューム③④（工場出荷時は最大に設定）
- 音声出力先(B1,B2,B3,B4)を選択できます。B外部入力設定スイッチ③① ON/OFF(表1 32ページ参照)
- ワイヤレスマイクのトークB音声とミキシングするか、B外部音声入力時にワイヤレスマイク音声を減衰してB外部音声を優先して出力することができます。

B1,B2,B3,B4それぞれミキシングか優先かを選択できます。

B出力優先設定スイッチ②(表2 32ページ参照)

- 通常は外部入力制御端子が「L」の場合、B外部音声を出力または優先制御しますが、音声検出機能に内蔵しているため、音声信号により、出力または優先制御できます。

端子台No.27検出と端子台No.25制御をショートした場合、検出レベルは、B外部検出レベル設定ボリューム③③で調整が可能です。



B外部入力、優先機能について

●B外部入力端子

●-20 dB 600 Ω 不平衡

機能	B4	B3	B2	B1	制御入力端子 No.25	B外部入力音声の出力先 B1~B4出力音声
設定	ON	ON	ON	ON	L	B1~B4すべて出力
	ON	OFF	OFF	OFF		B4のみに出力
	OFF	ON	OFF	OFF		B3のみに出力
	OFF	OFF	ON	OFF		B2のみに出力
	OFF	OFF	OFF	ON		B1のみに出力
	-	-	-	-	H	音声出力なし

[表1]

※ L:端子No.26 制御COMと、No.25 制御H ショート
H:端子No.26 制御COMと、No.25 制御H オープン

●B出力優先設定スイッチ⑨により、他の音声を減衰して、優先音声を他の音声より優先して出力することができます。

機能	B4	B3	B2	B1	制御入力端子 No.25	B優先入力音声の出力先 B1~B4出力音声
設定	ON	ON	ON	ON	L	B1~B4の他の音声を減衰し、優先音声のみを出力
	ON	OFF	OFF	OFF		B4のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力
	OFF	ON	OFF	OFF		B1~B3は他の音声と優先音声ミキシング出力
	OFF	OFF	ON	OFF		B3のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力
	OFF	OFF	OFF	OFF		B1,B2,B4は他の音声と優先音声ミキシング出力
	OFF	OFF	OFF	ON	B2のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力	
-	-	-	-	H	B1,B3,B4は他の音声と優先音声ミキシング出力	
					H	B1のみ他の音声を減衰し、優先音声のみを出力
					H	B2~B4は他の音声と優先音声ミキシング出力
					H	B1~B4他の音声のみ出力

[表2]

※他の音声とは、優先音声以外のすべての音声です。減衰量約20 dB
※ L:端子No.26 制御COMと、No.25 制御H ショート
H:端子No.26 制御COMと、No.25 制御H オープン

故障と思われましたら

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認ください。

確認してもなお異常があるときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

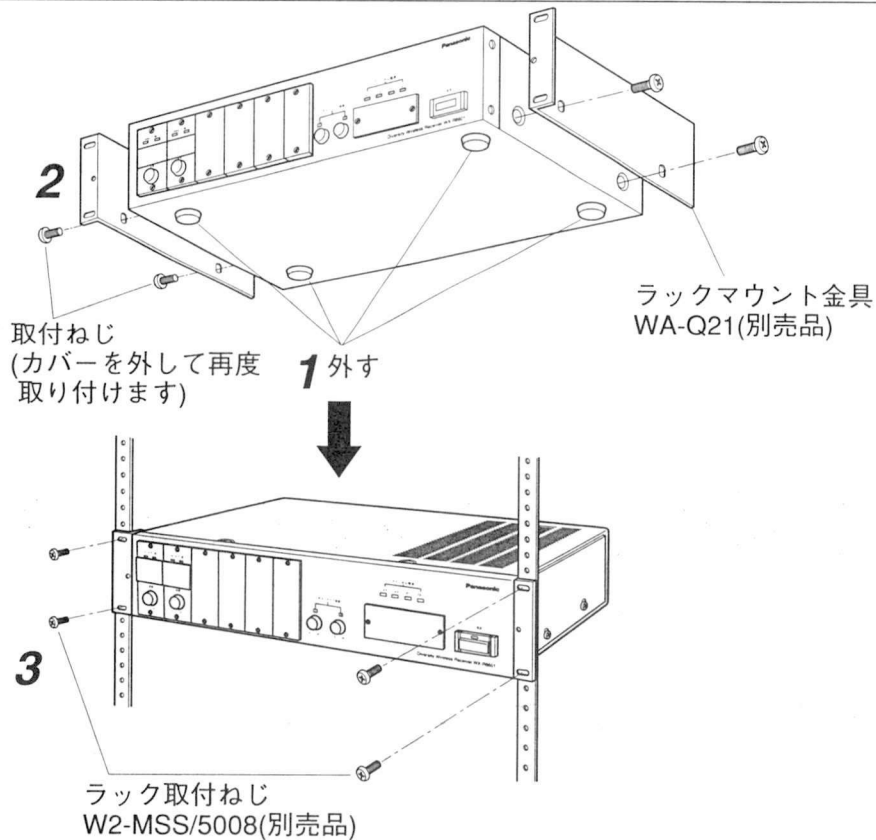
症 状	確認していただく内容
電源スイッチを「入」にしても、電源が入らない。 受信しない。	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか。 ●ワイヤレスマイクのトークスイッチを押していますか。 ●ワイヤレスマイクの充電電池/乾電池は消耗していませんか。 ●受信するグループおよびチャンネルは、ワイヤレスマイクと同じですか。
トークAは音声出力するが、トークBは音声出力しない。	トークB音声出力モード設定スイッチ⑩は、「ON」に設定されていますか。

ラックマウントのしかた

ラックマウント金具 WA-Q21(別売品)とラック取付ねじ W2-MSS/5008 (別売品)を使って、EIA規格相当のラックに取り付けることができます。

お願い

- パワーアンプと一緒にラックマウントする場合は、パワーアンプと本機との間を1U以上あけて取り付けてください。
- 上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。

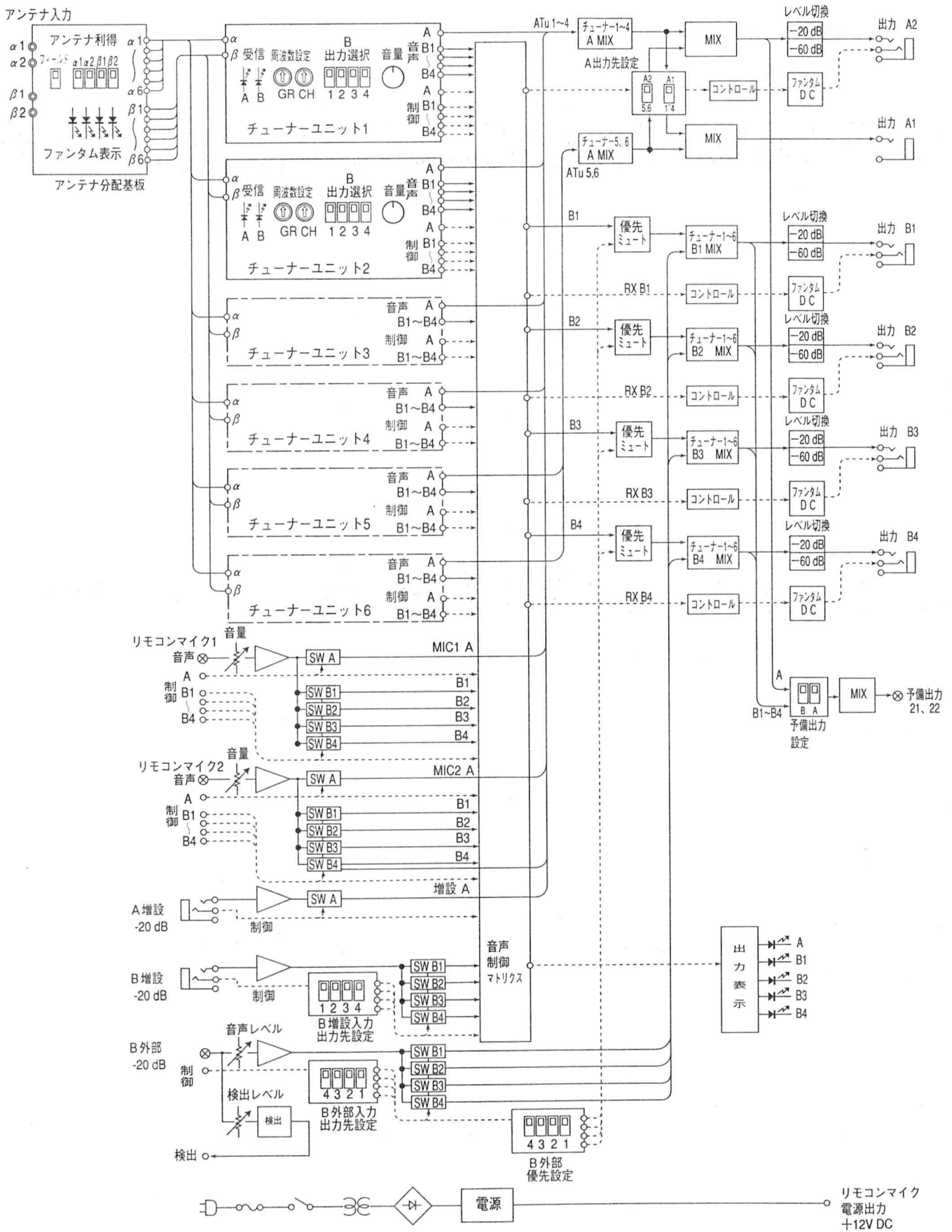


1 ドライバーを使い、ゴム足(4カ所)を外します。

2 カバー側面の取付ねじをはずして、本機の両端にラックマウント金具(別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(別売品)で固定します。

ブロックダイアグラム



仕様

●基本仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力 (注)	38 W
周囲温度	-10 °C ~ +50 °C
寸法	420(幅)×88(高さ)×291(奥行)mm ※高さはゴム足含まず。奥行は突起部含まず。
質量	約6.7kg

(注) 電気用品安全法技術基準に基づく表示です。

●受信部

アンテナ入力	50 Ω ~ 75 Ω 2系統 2回路 BNCコネクタ WX-A8100/WX-A8105/WX-A8110用ファンタム電源出力 DC12 V 70 mA最大 (ファンタム電圧による利得切換 3ポジション)
受信周波数	806.125~809.750 MHz 30波中2波 WX-D8200を4台増設で6波受信可能
受信方式	PLL制御ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	45 dB以上 (20 dB μ V 入力, \pm 5 kHz FMにて)
スケルチ感度	20 dB μ V以下
トーンスケルチ	トークA : 32.736 kHz, トークB : 32.800 kHz
S/N	50 dB 以上 (50 dB μ V 入力, \pm 5 kHz FM時)
ひずみ率	3 % 以下
周波数特性	100 Hz ~ 10 kHz (1 kHz基準 50 μ s エンファシス)

●表示機能

ファンタム電源表示	α 1, α 2, β 1, β 2	緑 : 正常供給状態 赤 : 異常状態 短絡時 消灯 : 無接続または異常状態 断線時、アンテナ混合器使用時
受信表示	トークA, トークB	赤 : 受信時連続点灯
音声出力表示	トークA2, トークB1~B4	赤 : 音声出力時連続点灯 ブランクパネル内

●音声出力

トークA1	-20 dB 600 Ω 不平衡 単頭プラグ チューナーユニット5,6のみ出力選択可能
トークA2	-20 dB/-60 dB (切換式) 600 Ω 不平衡 複式プラグ ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA (ON/OFFスイッチ切換) チューナーユニット5,6のみミュート選択可能
トークB1~B4	-20 dB/-60 dB (切換式) 600 Ω 不平衡 複式プラグ ファンタム電源出力 DC7.5 V 65 mA (ON/OFFスイッチ切換)
予備出力	-20 dB 600 Ω 不平衡 端子台 21,22 Aのみ,Bのみ,A+Bミキシング出力可能

●音声入力

リモコンマイク1入力	-20 dB 600 Ω 不平衡 端子台 1,2 A,B1~B4出力先選択可能
リモコンマイク2入力	-20 dB 600 Ω 不平衡 端子台 11,12 A,B1~B4出力先選択可能
増設入力 A	-20 dB 600 Ω 不平衡 複式プラグ 音声制御可能
増設入力 B	-20 dB 600 Ω 不平衡 複式プラグ B1~B4選択可能 音声制御可能
B外部入力	-20 dB 600 Ω 不平衡 端子台 23,24 音声レベル調整可能 B1~B4出力先選択可能 B1~B4優先選択可能 音声検出出力可能 端子台 27 検出レベル調整可能

●仕上げ

パネル	AVアイボリー色 ABS樹脂(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カバー	AVアイボリー色 塗装鋼板(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレス受信機の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	ワイヤレス受信機
品番	WX-R8601
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WX-R8601
	販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVマルチメディアビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045) 932-1231 (大代表)